

令和3年度 事業報告

令和3年度の事業推進にあたっては、第4次地域福祉活動計画及び事業方針の重点項目に則した事業展開を実施することとしました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な事業の自粛や活動の制限を余儀なくされた運営となりました。

このような中、本会では、新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアルに基づいた感染拡大防止を図りながら、「住民支え合い事業」をはじめ地区協議会が実施する様々な地域福祉事業の展開を図るとともに、特に支援を必要とする「介護保険サービス事業」や「あんしんサポート事業」の利用者に対して、切れ目のないサービス提供に努めました。

また、長期化している新型コロナウイルス感染症の影響による失業、休業等による経済的な困窮者の増加や社会環境の変化等により、家族や親子関係、子育てなど、様々な生活不安やストレスを抱える世帯が増えたことから、これまで以上に、市民の相談を真摯に受け止め関係機関と連携しながら対応しました。

さらに、市から受託した「生活・就労支援センター」の運営をはじめ「生活福祉資金特例貸付事業」、「たすけあい子育てフードバンク事業」等の実施により経済的な不安を抱えた方々を積極的に下支えするとともに、様々な地域福祉事業の推進が、コロナ禍の状況においてこそ一層重要なものとなっていることから、本会の基本理念である「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまちいわき」の実現に向け、取り組んでまいりました。

なお、主な重点事業及び第4次地域福祉活動計画に基づく事業実施状況については、次のとおりです。

主な重点事業

1 住民支え合い活動づくり事業（市受託事業）

地域住民や企業など多様な主体による生活支援サービスの充実をめざし、地域で暮らす高齢者をはじめ、子育て世代、子どもや障がい者など何らかの関わりやつながりを必要とする方々にどのような支援が求められているのかを共に考え、できる・やりたい・必要と考える「住民支え合い活動」の創出を支援。

(1) 実施体制

- ア 総括担当者 1名（地域福祉課）
- イ 地域福祉コーディネーター 13名（市内13圏域の各地区協議会に配置）
- ウ 生活支援コーディネーター 7名（地区保健福祉センター内の地区協議会に配置）

(2) 住民支え合い生活支援サービスの実施

高齢者等が抱えている生活課題や困り事に対応するため、必要な生活支援サービス（ゴミ出し・片付け・電球交換など）を提供し、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援。

※住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況については、関係資料P68

(3) 担当者会議の実施

- ア 年4回開催
- イ 第2層協議体会議の開催状況に関する情報共有
- ウ 住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認

(4) 第2層協議体の設置・運営

- ア 第2層協議体の設置
13圏域（旧市町村）に設置
- イ 第2層協議体の構成員
20名程度で構成
主な構成員は、行政嘱託員（区長） 民生児童委員 老人クラブ 青年会 婦人会 民間企業 社会福祉法人 協同組合 NPO 法人 ボランティアグループ 支え合い活動実践者 行政等
- ウ 第2層協議体の開催状況
年2回の開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により年1回の開催
※各地区の開催状況は次頁参照

(5) 第2層協議体における取り組み

- ア 住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認
- イ 第3層協議体による支え合い活動の状況確認
- ウ 新たに住民支え合い活動に関心を示す行政区などへの働きかけ

【第2層協議体会議開催状況】

地区名	第10回会議 開催日	構成員数	地区名	第10回会議 開催日	構成員数
平	10月26日	17	小川	7月29日	19
小名浜	11月11日	23	好間	11月4日	18
勿来	7月29日	18	三和	7月26日	17
常磐	10月25日	22	田人	7月28日	17
内郷	10月27日	16	川前	7月30日	17
四倉	7月30日	18	久浜・大	11月2日 (第9回会議)	27
遠野	10月6日 (第11回会議)	19	合計		248

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初予定していた第2層協議体会議が年1回の開催となったことや、住民同士の接触機会が制限されたことなどが影響し、第3層協議体の新たな設置に消極的な様子が見られ、住民支え合い活動の展開に伸び悩みが生じた。

しかし、支援を必要としている対象者からの相談だけではなく、民生委員、ケアマネジャー、近隣住民等、対象者を支える支援者側からの相談も多いことから、住民支え合い活動は広く周知され始めていると考えられる。

また、令和4年3月16日に福島県沖地震が発生した際には、支え合いサポーターが協力し合い要支援者の安否確認等を行い、いち早く必要な生活支援に取り組むことができ、支え合い活動の成果といえる。

引き続き、これまでの第3層協議体による住民支え合い活動に加え、第2層を圏域とした住民支え合い生活支援サービスを展開したことにより、重層的且つ広域的に支え合う機能を果たすことができた。

2 住民支え合い事業

平成29年度より市から受託した「いわき市住民支え合い活動づくり事業」の本格実施にともない、平成8年度から取り組んできた小地域福祉活動事業を「住民支え合い事業」に改編し、行政区等を単位とした新たな第3層協議体（住民組織）の設置及び支え合い活動を支援。

(1) 事業内容

行政区・自治会・小学校区等における活動

- ア 地域の福祉課題や生活支援ニーズの解決に向けて協議する協議体の設置
- イ 避難行動要支援者マップを作成し、支援対象者の把握や地域資源を確認
- ウ 住民支え合い活動への理解を深めるための研修会の開催
- エ 支え合いサポーターの養成・登録
- オ 日常的な見守りや声掛け、話し相手などの訪問活動
- カ 住民同士の交流の場（つどいの場）の創出と展開
- キ 生活支援（ごみ出し、窓拭き、買物代行等）を実施
- ク その他関係する活動

※住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）については、関係資料P69～P70

成果

住民支え合い活動（第3層協議体）実践者を第2層協議体構成員に含め、日頃の支え合い活動の状況や、新たな生活上の困り事に対する対応策の検討状況などに関する情報を共有し、住民支え合い活動の必要性について理解を図った。

また、新たに内郷地区の宮12区、四倉地区の5・9区、遠野地区の入上・中野天王地区、田人地区の貝泊区の4地区に第3層協議体を設置したほか、市内42地区に第3層協議体を設置し、定期的な見守り訪問や必要な生活支援に取り組みながら、住民同士のつながりを強化することができた。

3 つどいの場創出支援事業（市受託事業）

高齢者を年齢や身体の状態によって分け隔てることなく、誰もが気軽に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指し、介護予防に役立つ活動を地域の実情に応じて充実させ、人と人とのつながりをとおして、参加者やつどいの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進。

(1) 実施体制

つどいの場コーディネーター 13名

(2) 実施内容

- ア 地域資源の整理
- イ コーディネート支援（活動プログラムに関する助言・講師派遣調整など）
- ウ つどいの場サポーターの養成
- エ はたらきかけ支援（新たに活動を検討する地域住民等に対する相談支援など）
- オ 運営支援
- カ 関係機関との情報共有

<地区別実施状況>

地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数	地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数	地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数
平 (60)	752	四倉 (20)	236	田人 (9)	56
	8,710		2,331		562
小名浜 (44)	384	遠野 (8)	42	川前 (9)	85
	4,469		342		705
勿来 (37)	309	小川 (13)	121	久之浜・大久 (7)	74
	2,644		988		551
常磐 (20)	214	好間 (17)	106	合計 (283)	2,677
	1,894		949		27,005
内郷 (29)	260	三和 (10)	38		
	2,508		352		

(令和2年度：286箇所／3,704回／39,725名)

成果

住民自らが自主的に活動できるよう働きかけを行い、新規団体として4団体（登録人数51名）が立ち上がった。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、つどいの場の活動を休止せざるをえない状況となったが、各種チラシ等の配布、参加者の孤立化やフレイル予防のために電話等による交流を促すなど、参加者間のつながりが途切れることのないよう必要な支援を行った。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休会している団体もあり、引き続き、感染症予防対策を徹底し、これまでの実施方法や取り組み内容のあり方などの検討を行いながら、継続的に活動が行えるよう支援していきたい。

4 いわき市生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）

就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性やその他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言をするほか、関係機関と連携しながら問題の解決に向けた支援。

(1) 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの状況

① 新規相談件数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3	152 (108)	141 (125)	225 (203)	160 (129)	175 (148)	136 (114)	125 (97)	111 (93)	54 (42)	70 (50)	62 (45)	84 (69)	1,495 (1,223)
R2	53 (-)	22 (-)	21 (-)	32 (3)	43 (23)	55 (37)	110 (81)	102 (79)	97 (86)	83 (41)	163 (136)	310 (270)	1,091 (756)

※()内の数字は、新型コロナウイルスの影響による収入減等の相談件数

② 地区別相談件数（件）

地区	R3年度 (A)	R2年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
平	467	354	113
小名浜	359	240	119
勿来	167	112	55
常磐	162	112	50
内郷	114	108	6
四倉	46	30	16
遠野	17	5	12
小川	15	13	2
好間	66	48	18
三和	2	10	△8
田人	2	2	0
川前	3	4	△1
久之浜・大久	13	9	4
市外	27	7	20
その他（不明を含む）	35	37	△2
合計	1,495	1,091	404

③ 男女の別（人）

	R3年度		R2年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
男	907	60.7	692	63.4
女	588	39.3	399	36.6
合計	1,495	—	1,091	—

④ 年代別の人数と割合

	R 3 年度		R 2 年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
10代	9	0.6	4	0.4
20代	248	16.6	157	14.4
30代	306	20.5	224	20.5
40代	316	21.1	245	22.5
50代	303	20.3	223	20.4
60代以上	259	17.3	196	18.0
不明	54	3.6	42	3.8
合 計	1,495	—	1,091	—

⑤ 相談内容（国への月次報告実績）※内容の重複

内容	R 3 年度		R 2 年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
病気や健康、障がい	106	4.3	100	5.1
住まい	93	3.8	101	5.1
収入、生活費	1352	55.4	941	47.9
家賃、ローン	161	6.6	164	8.3
仕事探し、仕事上のトラブル	360	14.8	313	15.9
引きこもり、不登校	21	0.9	20	1.0
その他(税の支払い、家族関係等)	346	14.2	326	16.7
合 計	2,439	—	1,965	—

⑥ 支援の状況

		件数
プラン作成数（再プラン含む）		121
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		63
法 に 基 づ く 事 業 等 利 用	住居確保給付金	57
	一時生活支援事業	8
	家計改善支援事業	2
	就労準備支援事業	2
	認定就労訓練事業	0
	自立相談支援事業による就労支援	114
そ の 他	生活福祉資金による貸付	39
	生活保護受給者等就労自立促進事業	59
一般就労者総数		27
増収者総数		10

⑦ 支援調整会議の開催

支援を要する方に対し、適切な支援を行うため、現状把握、アセスメント、支援体制の確立及び関係機関との調整、役割分担の振り分け、また地域資源のネットワーク化を行うことを目的に開催。

ア 開催状況	12回（毎月1回）
イ 内容	プラン作成121件、プラン終結35件（累計）
ウ 構成メンバー	いわき市、家計改善支援員、NPO法人明日飛子ども自立の里、いわき公共職業安定所、指定就労支援事業所、本会

（2）本事業に関わる職員の役割

- ア 主任相談支援員（1名）：相談支援内容及び進捗状況確認、助言、指導等のマネジメント
- イ 相談支援員（2名）：アセスメント、プランの作成、支援調整会議、相談支援の実施
- ウ 就労支援員（2名）：就労意欲の喚起を含む支援、履歴書作成指導、就労後の定着支援等

成果

令和3年度の相談件数は1,495件で、前年度比1.4倍となる。その内、新型コロナウイルスの影響による相談が1,223件で、全相談件数の81.8%を占めた。

前年度同様、新型コロナウイルス関連の生活福祉資金特例貸付や住居確保給付金の利用者が増加しており、それに伴い、相談件数も増加傾向が続いている。

継続支援を希望した申請者については、就労支援や家計改善支援、フードバンク等の支援を行い、対象世帯の生活状況の改善や、自立につながった。

5 法人後見事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、
本会が後見人になり、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護サービスを提供。

(1) 事業対象者

いわき市在住で、他に適切な後見人等を得られない者のうち、次のいずれかの要件を満たす者。

- ア 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）の利用者
- イ 市長申し立ての請求を行う者

(2) 令和3年度新規受任件数及び実受任件数

区分（類型）	新規受任件数	令和4年3月末 実受任数
補助（判断能力が不十分な方）	0 (0)	1
保佐（判断能力が著しく不十分な方）	0 (0)	1
後見（判断能力が全くない方）	0 (0)	5
合計	0 (0)	7

*（ ）は、前年度実績

(3) 運営委員会の設置及び開催状況

後見業務の実施にあたり、受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適切な後見業務を担保するため学識経験者や法律関係者で構成される運営委員会を設置。

ア 委員構成 3名

委員長：鎌田 真理子氏（医療創生大学教養学部地域教養学科 教授）

副委員長：大和田 亮氏（福島県司法書士会いわき支部 司法書士）

委員：金田 康裕氏（福島県弁護士会いわき支部 弁護士）

イ 開催状況

	開催日	主な内容
第1回	令和3年9月8日（水）	・ 審査済案件の報告 8件 ・ 受任案件の助言

成果

令和3年度の新規受任案件は0件であったが、既存の受任案件において、定期的に関係機関等と情報共有を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う特別定額給付金の申請業務を行うなど、適切に権利行使を行うことができた。

6 日常生活自立支援事業（あんしんサポート／県社協受託事業）

判断能力が十分でなくなってきた方（認知症高齢者、知的・精神障がい者など）が、地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助。

(1) 本事業に関わる職員

- * 専門員：利用者の状況やニーズを把握し、自立支援に向けて適切な援助を行うため初期相談及び契約の締結、支援計画の作成を行う。（常勤3名）
- * 生活支援員：専門員が作成する支援計画に基づき、具体的な支援を行う。（非常勤37名）
- * 地区協議会職員：初期相談を対応し、専門員が契約するにあたっての調整役を担う。

(2) 相談の状況 (件)

	問い合わせ	初回相談	継続等相談援助	合計
1 認知症高齢者	23	22	1,467	1,512
2 知的障がい者	13	4	940	957
3 精神障がい者	11	15	1,134	1,160
4 不明・その他(身体障がい者他)	8	8	179	195
計	55	49	3,720	3,824

(令和2年度： 90件 58件 4,257件 4,405件)

(3) 契約の状況 13件（令和2年度：18件）

（内訳：認知症高齢者5件 知的障がい者3件 精神障がい者4件 その他1件）

(4) 地区別利用者の状況（継続利用者76名） (名)

地区名	R3年度末(A)	R2年度末(B)	比較増減 (A) - (B)
平	25	29	△4
小名浜	7	9	△2
勿来	7	8	△1
常磐	18	17	1
内郷	12	13	△1
四倉	4	3	1
遠野	0	1	△1
小川	1	0	1
好間	1	1	0
久之浜・大久	1	1	0
合計	76	82	△6

(5) 関係機関・団体等への制度周知（講師派遣） 実績なし

成果

利用者の生活状況に応じた福祉サービスの利用や状況に応じた制度の申請援助（特別定額給付金、生活保護等）を行うことで、利用者の安心安全な生活につながった。また、利用者の半数以上は、在宅生活であり、浪費・多重債務・消費者被害などの問題に遭遇しやすい状況にあるが、定期的に専門員や生活支援員が関わることで、問題を早期に発見し、関係機関と連携を図りながら解決に努めた。

7 たすけあい子育てフードバンク事業

経済的自立を目指している子育て世帯及び児童養護施設（いわき育英舎）の生活の安定や自立支援、さらには子どもの健全な育成の一助とすることを目的に、コープ東北サンネット事業連合（コープフードバンク）と協定を締結し、食品等の提供。

(1) 事業対象者

- ア 18歳未満の子どもを持つ世帯で、次のいずれにも該当する世帯
 - (ア) 生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援の申込みをしている世帯
 - (イ) 生活の立て直しのため、食品等支援を必要とする世帯
- イ いわき市内の児童養護施設（いわき育英舎）

(2) 本会の役割

- ア コープフードバンクとの日常的な連携と提供食品等の管理
- イ 申込受付と食品等支援の決定
- ウ 対象世帯への食品等配付
- エ 民生児童委員との連絡調整（申込みの際に同意を得た世帯のみ）

(3) 地区別登録件数

地区	R 3 登録者 (A)	R 2 登録者 (B)	比較増減 (A) - (B)
平	5	6	△ 1
小名浜	4	2	2
勿来	4	2	2
常磐	2	2	0
内郷	1	1	0
四倉	3	0	3
遠野	0	0	0
小川	0	0	0
好間	2	0	2
三和	0	0	0
田人	0	0	0
川前	0	0	0
久之浜・炊	1	0	1
合計	22	13	9

成果

関係機関と連携を図りながら、生活に困窮している子育て世帯への定期的な食品等の提供を通じて世帯状況の確認を行うことで、生活の不安の解消と子どもたちの心の安定につながった。

併せて、今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、子育て世帯以外からの食料支援の相談が増加したことから、実施要項を一部改正し、どの世帯にも対応できるよう支援体制の構築を図ったことで、これまで対応できなかった3世帯への支援につながった。

これを受けて、令和4年度より「生活困窮者生活サポート事業」として事業改編を行い、たすけあいフードバンク事業を軸に、総合的な相談対応と生活再建・自立に向けた支援の実施とした。

8 車椅子同乗移送用自動車貸出事業

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子のまま同乗できる移送車両を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいつくり、さらにはリフレッシュを図る等の外出の支援。（平地区に2台、勿来地区に1台車両を配置）

(1) 貸出状況

	R3年度 (A)	R2年度 (B)	比較増減 (A)－(B)
平地区車両 (2台)	202 (73)	153 (74)	49 (△1)
勿来地区車両 (1台)	113 (58)	100 (25)	13 (35)
合 計 (3台)	315 (131)	253 (99)	62 (32)

* () は、貸出のうち2日間の利用件数

(2) 地区別利用件数

地 区	R3年度 (A)	R2年度 (B)	比較増減 (A)－(B)
平	85	72	13
小名浜	25	26	△1
勿 来	98	100	△2
常 磐	2	5	△3
内 郷	22	16	6
四 倉	30	25	5
遠 野	0	0	0
小 川	0	0	0
好 間	4	1	3
三 和	13	1	12
田 人	26	7	19
川 前	10	0	10
久之浜・大久	0	0	0
合 計	315	253	62

成果

前年度に比べ、新型コロナウイルスのワクチン接種や通院、買物等で外出する方が増えたことにより、利用実績の増加につながっており、高齢者や障がい者等の社会参加や生きがいつくりに寄与することができた。

9 児童養護施設支援事業

市内の児童養護施設（いわき育英舎）の子どもたちは、通常一般家庭で毎年伝統的に行われている「お年玉」が、篤志家から寄付があった年度にのみ配付されている現状を踏まえ、一般家庭と同様に「お年玉」の支給。

また、高校を卒業し、就職または進学する子どもたちにおいては、県から支給される就職支度費及び進学支度費のみでは新生活に必要なものを購入するには十分でない現状を踏まえ、スーツ・靴等の購入のための就職・進学準備金としてお祝金の支給。

(1) 事業対象者

ア お年玉

令和4年1月1日現在で、いわき市内の児童養護施設（いわき育英舎）に在籍している幼児・児童・生徒

イ お祝い金（就職・進学準備金）

いわき市内の児童養護施設に在籍している生徒のうち、高等学校等を卒業し、就職または短大・大学等に進学する者

(2) 支給金額

ア お年玉

対象者	支給金額	人数	合計金額
幼児	1,000円	4 (2)	4,000円 (2,000円)
小学生	3,000円	13 (15)	39,000円 (45,000円)
中学生	5,000円	9 (8)	45,000円 (40,000円)
高校・専修学校等	5,000円	11 (10)	55,000円 (50,000円)
合計		35 (38)	137,000円 (142,000円)

イ お祝い金（就職・進学準備金）

対象者	支給金額	人数	合計金額
就職・進学予定者	50,000円	7 (1)	350,000円 (50,000円)

* () は、前年度の実績

成果

児童養護施設（いわき育英舎）の子どもたちへお年玉を配付することにより、日本の慣習に触れる機会となり、普段購入できないものを購入できる喜びを味わい、明るい気持ちでお正月を迎えてもらうことができた。また、新社会人等に就職等準備金を配付することにより、就職に必要な資格を取得することができ、自立への意欲につながってもらうことができた。

10 一時提供住宅入居者等見守り支援事業（市受託事業）

災害救助法（昭和22年法律第118号）に基づく応急仮設住宅に入所し、被災前と大きく異なった環境に置かれることとなった被災者が、それぞれの環境の中で安心した日常生活を営むことができるよう、応急仮設住宅の供与期間中、孤立防止等のための見守り支援や、日常生活上の相談を行うとともに、被災者を関係支援機関につなぐ等の支援。

(1) 対象

- ア 台風19号等による被災により、被災前の住宅等への居住が困難となり、応急仮設住宅（借上型仮設住宅（みなし仮設））に居住する市民や公営住宅へ一時避難する市民及び、在宅であっても災害を要因として孤立するおそれのある市民。
- イ その他、市長が認める者。

(2) 事業内容

- ア 一時提供住宅等入居者の生活状況把握と継続的な支援の必要性の判断
市の提供する対象世帯名簿に基づき、全世帯を訪問し入居者の生活状況を把握することなどにより、継続的な支援の必要性のある世帯を把握する。
なお、訪問等に際しては、入居者の日常生活の安定確保に資する情報提供や、日常生活に関する相談支援、必要に応じた関係支援機関等へのつなぎを行う。
また、継続的な支援の必要性の判断については、訪問時のアセスメント結果等に基づき、決定する。
- イ 一時提供住宅等入居者の見守り等支援
継続的な支援の必要性があると判断された世帯については、その安定的な日常生活が確保されるよう、次の支援を実施する。なお、訪問等の頻度については、世帯の状況に応じて適切に判断する。
 - ① 訪問等を通じた見守り・声かけ
 - ② 傾聴や日常生活に関する相談支援等、必要に応じた関係支援機関へのつなぎ
 - ③ 日常生活の安定確保に資する情報提供

(3) 実施状況

- ア 見守り支援員（3名）を配置
- イ 調査世帯状況

	R4.3月末(A)	R3.3月末(B)	比較増減(A)-(B)
調査対象世帯	799	799	0
未調査世帯	109	151	△42
見守り対象世帯	0	78	△78
見守り終了世帯	690	570	120

事業受託期間終了となる令和3年度においては、未調査世帯となっていた151世帯に対する訪問調査と見守り対象世帯の78世帯に対して、日常生活の安定確保に資する情報提供や相談支援、必要に応じた関係支援機関等へのつなぎを行った。その結果、見守り対象世帯については、生活の安定が図られたことで、0世帯になった。未調査世帯は109世帯となり、令和4年3月末に事業終了のお知らせを郵送した。

(4) 訪問及び相談対応について

① 訪問実績

訪問件数	電話	来所	合計
689	775	3	1,467

② 相談実績

相談内容	件数	他機関へのつなぎ	件数
経済面	10 (9.5%)	行政	32 (29.1%)
居住関係 (再建)	33 (31.4%)	社会福祉協議会	26 (23.6%)
就労関係	35 (33.4%)	地域包括支援センター	7 (6.4%)
介護・福祉関係	19 (18.1%)	介護事業所	4 (3.6%)
健康・医療関係	8 (7.6%)	就労支援機関	41 (37.3%)
合計	105 件	合計	110 件

一時提供住宅入居者の 229 世帯（未調査世帯、見守り対象世帯）に対して、1,467 件の訪問及び電話での対応を行い、105 件の相談があった。相談内容としては、就労関係 35 件（33.4%）と再建に伴う居住関係 35 件（33.4%）が多く、仕事に関する相談や住居の再建に向けた相談が多い状況となった。

また、相談から関係支援機関へつないだケースについては、110 件で、そのつなぎ先としては、就労支援機関（いわき市生活・就労支援センター）が 41 件（37.3%）、行政 32 件（29.1%（住まい政策課、税務課など）を合わせると 73 件で、全体の 66.4%を占める状況となった。

成果

訪問や電話による面談を行ううえで関係支援機関と連携を図るとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、経済的な不安を抱えた世帯に対しては、市生活・就労支援センターや生活福祉資金特例貸付の案内等を行いながら、多面的な支援を行った結果、年度当初 78 世帯あった見守り対象世帯は、0 世帯となり自立に向けた支援が図られた。

また、本事業の終了に伴い、未調査世帯に対しては、事業終了のお知らせと今後の相談及び困り事等についての案内を行ってフォローした。

11 生活福祉資金特例貸付の相談受付窓口の開設

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休業や失業で、当座の生活費を必要とする世帯を対象に生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金）の特例貸付を実施するため、本会に相談受付窓口を開設。

(1) 開設期間 令和2年3月25日から令和4年8月末日

(2) 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの相談件数及び地区別申込み・決定件数

① 相談件数 10,161件（電話による問い合わせ等を含む）

② 緊急小口資金

ア 貸付要件 新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

イ 貸付上限額 20万円以内

ウ 据置期間 貸付の日の月末から1年以内

エ 償還期間 据置期間終了後2年以内

オ 貸付利子・保証人 無利子・不要

カ 対応状況 1,277件（250,610,000円）

（令和3年度貸付状況）

地区	申込受付件数	申請者住所地	決定件数	不承認件数	貸付決定金額（円）
本部	600				
平	158	368	361	7	70,850,000
小名浜	188	340	327	13	64,360,000
勿来	99	145	143	2	28,300,000
常磐	126	176	175	1	33,630,000
内郷	66	104	103	1	20,600,000
四倉	25	53	51	2	10,200,000
遠野	2	11	11	0	2,100,000
小川	8	19	19	0	3,700,000
好間	25	58	56	2	10,720,000
三和	0	4	4	0	750,000
田人	0	4	4	0	800,000
川前	1	1	1	0	200,000
久之浜・炊	9	24	22	2	4,400,000
合計	1,307	1,307	1,277	30	250,610,000

※不承認の理由は、同一世帯の重複申請と過去（東日本大震災）の特例貸付の滞納が主な理由。

③ 総合支援資金

ア 貸付要件	新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
イ 貸付上限額	2人以上世帯月 20 万円以内 単身世帯 月 15 万円以内 貸付期間：原則 3 月以内
ウ 据置期間	1 年以内
エ 償還期限	10 年以内
オ 貸付利子・保証人	無利子・不要
カ 対応状況	1,472 件 (791,470,000 円)

(令和 3 年度貸付状況)

地 区	申込受付 件数	申請者 住所地	決定 件数	不承認 件数	貸付決定金額 (円)
本 部	806				
平	155	471	470	1	244,250,000
小名浜	188	369	366	3	198,290,000
勿 来	103	168	167	1	99,990,000
常 磐	109	188	188	0	100,840,000
内 郷	62	119	119	0	62,250,000
四 倉	22	47	47	0	25,350,000
遠 野	0	15	15	0	7,800,000
小 川	12	19	19	0	10,050,000
好 間	18	59	59	0	30,200,000
三 和	0	4	4	0	2,100,000
田 人	0	2	2	0	1,050,000
川 前	1	3	3	0	1,800,000
久之浜・炊	1	13	13	0	7,500,000
合 計	1,477	1,477	1,472	5	791,470,000

※不承認の理由は、申請者からの強い要望で申請を受付けたが、収入の減収が確認できなかったこと、同一世帯の重複申請、書類の不備が主な理由。

④ 再貸付（令和3年2月19日から令和3年12月末で受付終了）

ア 貸付要件 緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付が終了した世帯で、新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯。

※貸付上限額等については、総合支援資金と同様。

イ 対応状況 976件（522,350,000円）

（令和3年度貸付状況）

地区	申込受付 件数	申請者 住所地	決定 件数	不承認 件数	貸付決定金額（円）
本部	679				
平	53	317	316	1	165,650,000
小名浜	87	243	243	0	132,900,000
勿来	50	125	125	0	68,400,000
常磐	58	122	122	0	66,300,000
内郷	26	84	82	2	42,000,000
四倉	9	26	26	0	13,950,000
遠野	0	9	9	0	4,950,000
小川	8	13	13	0	7,050,000
好間	9	29	29	0	15,000,000
三和	0	2	2	0	1,050,000
田人	0	2	2	0	1,050,000
川前	1	2	2	0	1,200,000
久之浜・炊	0	6	5	1	2,850,000
合計	980	980	976	4	522,350,000

※不承認の理由は、貸付の目的を達成する見込みがない者。

※令和3年4月1日から令和4年3月31日までの実績

貸付種別	決定件数	決定金額
緊急小口資金	1,277件	250,610,000円
総合支援資金	1,472件	791,470,000円
総合支援資金再貸付	976件	522,350,000円
合計	3,725件	1,564,430,000円

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一時的な収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となった世帯への一助となった。

また、総合支援資金特例貸付の申請においては、生活・就労支援センターでの面談が必須となっていることから、申請者に対して就労に向けた必要な情報の提供と助言を行った。

<参考> 令和2年3月25日から令和4年3月31日までの実績

いわき市

貸付種別	決定件数	決定金額
緊急小口資金	3,004 件	573,690,000 円
総合支援資金	2,681 件	1,421,626,000 円
総合支援資金再貸付	1,152 件	613,700,000 円
合計	6,867 件	2,609,316,000 円

県全体

貸付種別	決定件数	決定金額
緊急小口資金	15,249 件	2,848,006,000 円
総合支援資金（再貸付含む）	14,206 件	9,002,465,000 円
合計	29,455 件	11,850,471,000 円

基本理念「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」

基本目標 1 共に生きる社会をつくるために																																																																								
基本計画 1-1 本人の意思の尊重																																																																								
基本計画 1-2 子ども・子育て支援の充実																																																																								
実施項目／実施内容	備考																																																																							
<p>○ 子育てサロン事業</p> <p>子育て中の方々が子育てに関する情報交換や悩みの共有化を図り、孤立・不安・競争の子育てから、協働・安心・信頼の子育てができるよう、地域の民生児童委員や主任児童委員、ボランティア等と連携し、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりや出会いの場づくりができる子育てサロンの拡充強化に努めた。</p> <p>地区別実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>実施箇所</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加組数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>62</td> <td>季節行事や自由遊び、情報交換等</td> </tr> <tr> <td>小名浜</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>99</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>勿来</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>37</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>常磐</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>内郷</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>季節行事や自由遊び、情報交換等</td> </tr> <tr> <td>四倉</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>遠野</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>48</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>小川</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>好間</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>20</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>三和</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>田人</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>64</td> <td>季節行事や自由遊び、情報交換等</td> </tr> <tr> <td>久之浜・大久</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>37</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17</td> <td>65</td> <td>395</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(令和2年度： 118回 646組)</p>		地区名	実施箇所	実施回数	延べ参加組数	内容	平	7	15	62	季節行事や自由遊び、情報交換等	小名浜	1	13	99	〃	勿来	2	6	37	〃	常磐	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	内郷	1	1	4	季節行事や自由遊び、情報交換等	四倉	1	4	15	〃	遠野	1	8	48	〃	小川	1	3	9	〃	好間	1	3	20	〃	三和	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	田人	1	5	64	季節行事や自由遊び、情報交換等	久之浜・大久	1	7	37	〃	計	17	65	395		
地区名	実施箇所	実施回数	延べ参加組数	内容																																																																				
平	7	15	62	季節行事や自由遊び、情報交換等																																																																				
小名浜	1	13	99	〃																																																																				
勿来	2	6	37	〃																																																																				
常磐	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止																																																																				
内郷	1	1	4	季節行事や自由遊び、情報交換等																																																																				
四倉	1	4	15	〃																																																																				
遠野	1	8	48	〃																																																																				
小川	1	3	9	〃																																																																				
好間	1	3	20	〃																																																																				
三和	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止																																																																				
田人	1	5	64	季節行事や自由遊び、情報交換等																																																																				
久之浜・大久	1	7	37	〃																																																																				
計	17	65	395																																																																					
<p>成果</p> <p>コロナ禍であったが、子育て中の親子が気軽に集い交流し、子育ての不安や悩み等を話し合うことにより、安心して子育てができるよう環境づくりに努めるとともに、カンガルーひろばや屋内遊び場等の子育て支援関連の情報提供も行った。</p>																																																																								

○ 子育てサロン歳末支援事業の推進

歳末たすけあい運動の一環として、各地区協議会主催の子育てサロで行うクリスマス会等の活動に対し、その経費の一部を助成することにより、子育て親子が明るく元気に新年を迎えられるよう支援した。

- ・ 事業実績 341名（2年度：397名）

成果

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催場所の貸出し休止等もあったが、各地区協議会で実施している子育てサロンへの参加促進が図られた。

○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）※市受託事業

親子のふれあいと、父母等、子ども同士が気軽に交流できる場とするとともに、子育てに関する悩みや不安等の相談に応じ、市内の子育て支援関連の情報提供などに努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、利用人数を制限しながらの実施となった。

年間利用者数

（単位：名）

大人	子ども	合計	育児などに関する 相談件数（件）
1,242	1,297	2,539	117

（令和2年度：4,263名 相談件数：44件）

成果

コロナ禍であったが、子育て中の親等からの相談に応じ、子育てに関する助言を行うとともに、市内の子育て支援関連の情報提供をすることができた。

○ **いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっず もりもり）※市受託事業**

子どもたちが安心して遊べる場の確保を目的に、小学校低学年までの児童を対象とした、無料の屋内遊び場の管理運営に努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開放時間・回数及び利用人数を制限しながらの実施となった。

年間利用者数 (単位：名)

いわきっず もりもり (いわき市石炭化石管内)		
大人	子ども	合計
4, 495	5, 734	10, 229

(令和2年度：14, 646名)

成果

コロナ禍であったが、子どもたちが安全に遊べるよう適切な運営管理に努めるとともに、市内の子育て支援関連の情報提供をすることができた。

○ **たすけあい子育てフードバンク事業**

再掲
P.11

○ **産前・産後ヘルパー派遣事業 ※市受託事業**

出産後の養育についての支援が必要な妊婦及び保護者並びに養育が必要な児童に対し、ホームヘルパーを派遣する産前・産後ヘルパー派遣事業を実地することにより、妊娠、出産、育児期における育児不安の解消や心身の不調による育児不安の軽減並びに児童の適切な養育環境の確保を図った。

(1) **事業対象者**

市内に居住し、在宅生活をしている者であって、次の各号に掲げる者のうち、ホームヘルパーの派遣を行うことが、適当であると市長が認めた者

- ア 出産後の養育について出産前に支援を行うことが特に必要と認められる妊婦
- イ 出産後の家庭訪問その他の手段により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童及び保護者
- ウ 保護者に監護させることが不適當であると認められる児童及び保護者

(2) **支援内容**

- ア 食事の準備、後片づけ・衣類の洗濯、補修・居室等の清掃、整理整頓・買い物
- イ その他必要と認められる育児、家事援助

(3) **利用状況**

- ア 相談のみ件数 2件 (令和2年度 2件)
- イ 利用件数 9件 (令和2年度 14件)

<p>成果</p> <p>サービス利用者数が減少したが、サービス終了後も障がい福祉サービスで利用するケースもあり、継続した支援につながっている。</p>	
<p>基本計画 1-3 高齢者福祉の充実</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	<p>備考</p>
<p>○ 住民支え合い事業</p>	<p>再掲 P.4</p>
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.2 ～3</p>
<p>○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.5</p>
<p>○ いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業 ※市受託事業</p> <p>温かい思いやりとふれあいに支えられた福祉のまちづくりを推進するため、できるだけ多くの市民が福祉に関心を持ち、福祉の心を育み、共に福祉のまちづくりに参加してくれることを願って開塾する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p>	
<p>○ 各種事業の開催（介護予防教室・介護技術講座等）</p> <p>高齢者の介護が課題となっているなか、介護の問題を社会全体で支えるという視点に立ち、地域住民に対する介護の啓発や介護に関する知識と技術の普及を図るとともに、高齢者を地域で支える活動に資するため開催。</p> <p>1 介護講座</p> <p>令和3年 7月21日 介護講話／三和ふれあい館／参加者17名（三和） 11月25日 介護講話／四倉集会所／参加者16名（四倉）</p> <p>※小名浜地区及び久之浜・大久地区は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>2 介護予防講座</p> <p>※小川地区は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>3 高齢者ふれあいの集いの開催</p> <p>○常磐地区 湯～らり温泉めぐり事業…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○内郷・四倉・田人・久之浜大久地区 高齢者ふれあいの集い…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	

○川前地区

地域高齢者交流事業

開催日：令和3年10月～12月 計6回

場所：川前活性化センター 他

参加者：延99名

内容：運動等

成果

コロナ禍であったが、介護に関する講座等を通し、介護に対する理解促進をすることができた。

○ 住居環境整備・補修等サービス事業の実施

歳末たすけあい運動の一環として、援護を必要とする低所得の在宅高齢者単身世帯を対象に、障子張りサービスを提供し、明るくフレッシュな気持ちで新年を迎えられるよう支援するとともに、シルバー人材センターに業務を発注することにより高齢者の雇用創出にも寄与した。

- ・ 事業実績 9件（令和2年度：9件）

成果

新しい障子により明るくリフレッシュな気持ちで新年を迎えることができ、ひとり暮らし高齢者の心のケアにつながった。

○ 介護用防水シート給付事業の推進

歳末たすけあい運動の一環として、常時寝たきりの状態にある在宅高齢者世帯等に対し、民生児童委員の協力のもとに介護用防水シートを給付し、在宅での生活や介護を支援した。

- ・ 給付人数 150名（2年度：138名）

成果

給付により、介護者の負担軽減が図られた。

○ 青少年福祉体験学習事業

1 高齢者疑似体験

加齢にともなう身体的機能と心理的な変化が、日常生活にもたらすさまざまな影響を体験的に理解する機会を提供するため、児童・生徒や地域住民等を対象に高齢者疑似体験セットを無料で貸し出し、高齢者福祉に対する関心と理解の促進に努めた。

- ・ 貸出件数 体験セット 21件 208セット（令和2年度：27件 392セット）
車椅子 10件 30台（令和2年度：18件 57台）

2 福祉体験プログラム（福祉講話、手話体験、点字体験）

<手話体験>

地区	学校名	開催日	人数
平	中央台北小学校	10月11日	34名
	平第二小学校	10月15日	61名
小名浜	小名浜第三小学校	9月22日	62名
	泉北小学校	10月25日	60名
	泉北小学校	11月4日	60名
	渡辺小学校	11月11日	8名
	鹿島小学校	11月12日	41名
勿来	勿来高校	12月8日	16名
内郷	内町小学校	11月29日	25名
好間	好間第一小学校	11月18日	42名
四倉	四倉中学校	7月6日	104名
	大浦小学校	10月14日	50名

※福祉講話、点字体験は実施なし。

成果

車いすや高齢者疑似体験セットを学校や地域住民等に貸し出すことにより、福祉教育の充実強化と福祉意識の醸成を図ることができた。

○ サマーショートボランティアスクール事業

第30回サマーショートボランティアスクールの実施

高校生を対象に、夏休みの期間を利用しボランティア活動を体験する場を提供し、今後のボランティア活動への積極的な参加を促すことを目的に実施した。

なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設等での体験は行わず、講話のみの実施とした。

- ・開催日：令和3年7月29日
- ・場所：いわき産業創造館
- ・内容：①講話「令和元年東日本台風被災者支援ボランティア活動」
②認知症サポーター研修
- ・参加学校数：6校
- ・参加生徒数：57名

成果

高校生の福祉やボランティア活動への理解をより深めることができた。

○ 福祉人材センター協力指定事業 ※県社協受託事業

地域住民に福祉サービスについての啓発を行うとともに、福祉マンパワーの確保対策の推進を図った。

- ・福島県福祉人材センターが実施する事業についての協力・支援の実施

<p>社会福祉施設への就労を希望する者（学生を含む）に対し、福祉の職場、職種等についての相談会をいわき市社会福祉センターにおいて、毎月第2水曜日（午前10時30分から午後2時30分）に開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材センター求職登録の受付及び相談 ・福祉の職場合同就職説明会（年1回）への協力 <p>成果</p> <p>福祉の仕事に係る広報活動、情報提供を行うことによって、福祉分野への理解や関心を深め、人材不足である福祉の職場における人材の確保につながった。</p>	
<p>○ 介護保険事業</p> <p>1 居宅介護支援事業</p> <p>介護保険制度において、多様なサービス提供主体（事業者）による各種の介護サービスが総合的、一体的、効率的に提供されるよう、利用者側のサービス選択を基本に、高齢者とその家族を支援することを目的に実施。</p> <p><利用者状況></p> <p>利用者延数 2, 234名(令和2年度：2, 139名)</p> <p>成果</p> <p>特定事業所加算事業所としての要件を満たしつつ、利用者のサービス選択を重視し、偏りのないサービス計画により、利用者及び介護者や家族を支援した。</p> <p>2 施設訪問調査事業の実施</p> <p>いわき市内における施設入所者の要介護認定更新に係る調査、及びいわき市外からの委託による施設入所者・在宅生活者の要介護認定更新に係る調査の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査件数 15件（いわき市分： 0件 いわき市以外分：15件） 〔令和2年度 37件（いわき市分： 10件 いわき市以外分：27件）〕 <p>成果</p> <p>コロナ禍で認定期間が1年延長になったことに伴い、調査件数が減少傾向にある中で、依頼を受けたケースについては、迅速かつ適切に対応した。</p>	<p>関係資料 P.78</p>
<p>○ 訪問介護事業</p> <p>介護保険制度で要介護と認定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、生活支援や身体介護などのサービスを提供。</p>	<p>関係資料 P.78</p>

<訪問介護サービス事業利用状況>

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)				利用者延数 (名)
	生活援助	身体生活	身体介護	計	
	2,940	209	1,064	4,213	508

(令和2年度：5,090回 511名)

成果

ホームヘルパーの人員確保が困難な状況にあるなか、特定事業所加算事業所の継続や研修によるホームヘルパーの質の維持向上に努め、積極的に他事業所が参入しない中山間部や困難ケースへの対応に努めた。

○ 訪問入浴介護事業

介護保険制度で要介護と判定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などのサービスを提供。

関係資料
P.78

<訪問入浴サービス事業利用状況>

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	計	
	1,854	18	1,872	436

(令和2年度：2,058回 476名)

成果

看護師や介護人材の確保に努めサービスの希薄な中山間地域、医療依存度が高い利用者や末期癌ターミナルの利用者へのサービス提供など、利用者のニーズに対応しながら事業の効率化を図り、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

○ 予防訪問介護事業

介護保険制度における予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者等の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、家事や入浴、排泄支援などの介護予防サービスを提供。

関係資料
P.78

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)	利用者延数 (名)
	1,435	280

(令和2年度：2,071回 379名)

成果

サービス提供の制限とヘルパーの減少という厳しい状況のなかで、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

○ 予防訪問入浴介護事業

介護保険制度における新予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などの介護予防サービスを提供。

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	計	
	0	0	0	0

(令和2年度： 0回 0名)

○ ケア会議への参画

1 中地域ケア会議への参画

介護保険制度に基づき、地区保健福祉センターで設置している「中地域ケア会議」へ参画し、関係機関・団体の連携により、高齢者・障がい者・子どもなどが地域で暮らし続ける上での日常的な医療・介護・子育てなどを中心とした諸課題の解決に向けて協議した。

地区名	実施日
平	開催中止
小名浜	開催中止
勿来・田人	令和3年 8月 3日 (書面審議) 10月18日 令和4年 3月14日 (書面審議)
常磐・遠野	令和3年12月22日 (書面審議)
内郷・好間・三和	令和3年12月 2日 (書面審議)
四倉・久之浜大久	令和4年 3月 1日 (書面審議)
小川・川前	令和3年12月17日 (書面審議) 令和4年 3月 4日 (書面審議)

2 地域ケア会議への参画

地域ケア会議（地域包括支援センター主催）に積極的に参画し、高齢者を地域で支えるための体制づくりに努めた

<小地域ケア会議>

開催なし

<個別ケア会議>

開催なし

<p><ネットワーク会議></p> <p>令和3年 4月 8日 第1回田人地区オレンジカフェ以和貴意見交換会／田人ふれあい館 5月13日 第2回田人地区オレンジカフェ以和貴意見交換会／田人ふれあい館 6月10日 第3回田人地区オレンジカフェ以和貴意見交換会／田人ふれあい館 7月31日 第1回いわき医療介護学校よつくら塾／四倉公民館（四倉） 10月20日 第2回いわき医療介護学校よつくら塾／四倉公民館（四倉） 11月17日 第3回いわき医療介護学校よつくら塾／四倉公民館（四倉）</p> <p>成果</p> <p>地域包括支援センターや関係機関との協働により、高齢者の生活実態や生活支援ニーズを把握することができたことから、今後も課題を分析しながら、課題解決に向け取り組んでいく。</p>	
<p>基本計画1-4 障がい者福祉の充実</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	<p>備考</p>
<p>○ 住民支え合い事業</p>	<p>再掲 P.4</p>
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.2 ～3</p>
<p>○ いわき・ふれあい・ふくし塾事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.23</p>
<p>○ 青少年福祉体験学習事業</p>	<p>再掲 P.24 ～25</p>
<p>○ サマーショートボランティアスクール事業</p>	<p>再掲 P.25</p>
<p>○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）※県社協受託事業</p>	<p>再掲 P.10</p>
<p>○ 成年後見（法人後見）事業</p>	<p>再掲 P.9</p>
<p>○ 車椅子同乗移送用自動車貸出事業</p>	<p>再掲 P.12</p>
<p>○ 車椅子貸出事業の実施</p> <p>自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいづくり、さらにはリフレッシュのための外出等、日常生活を支援した。</p> <p><貸出状況></p> <p>・貸出件数 92件（令和2年度：45件）</p>	

<p>○ 介護保険事業</p>	<p>再掲 P.26 ～28</p>													
<p>○ 障がい福祉サービス事業（指定居宅介護事業） 介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、障がい者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づき家事や入浴排泄支援など居宅介護サービスを提供。</p> <p><居宅介護サービス事業利用状況></p> <table border="1" data-bbox="209 533 1311 678"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者 (障がい支援区分認定者)</th> <th colspan="3">実施回数（回）</th> <th rowspan="2">利用者延数 (名)</th> </tr> <tr> <th>生活援助</th> <th>身体介護</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1, 131</td> <td>203</td> <td>1, 334</td> <td>212</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(令和2年度： 1, 394回 228名)</p> <p>成果 他事業所の参入が少ないことや困難ケースが多いなかで、利用者・実施回数ともに若干の減少があったものの身体介護サービスが増加傾向にあることから、今後も質の高いサービスの確保と提供に努めていきたい。</p>	対象者 (障がい支援区分認定者)	実施回数（回）			利用者延数 (名)	生活援助	身体介護	計		1, 131	203	1, 334	212	<p>関係資料 P.78</p>
対象者 (障がい支援区分認定者)		実施回数（回）				利用者延数 (名)								
	生活援助	身体介護	計											
	1, 131	203	1, 334	212										
<p>○ 身体障がい者訪問入浴サービス事業 入浴に介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、温泉利用による入浴介護や部分清拭などサービスを提供。</p> <table border="1" data-bbox="209 1198 1294 1344"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者 (65歳未満の身体障がい者等)</th> <th colspan="3">実施回数（回）</th> <th rowspan="2">利用者延数 (名)</th> </tr> <tr> <th>入浴</th> <th>清拭</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>657</td> <td>0</td> <td>657</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(令和2年度： 732回 127名)</p> <p>成果 コロナ禍によりサービスを控える利用者が増えたことにより、利用者・実施回数が減少したが、利用者ニーズの対応の変化に併せたサービスの提供と確保に努めていきたい。</p>	対象者 (65歳未満の身体障がい者等)	実施回数（回）			利用者延数 (名)	入浴	清拭	計		657	0	657	118	<p>関係資料 P.78</p>
対象者 (65歳未満の身体障がい者等)		実施回数（回）				利用者延数 (名)								
	入浴	清拭	計											
	657	0	657	118										
<p>○ 当事者団体活動助成事業（市盲人福祉協会・市腎臓病患者友の会） 当事者団体が実施する事業を支援し、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることを目的に助成金を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金の支出 支援団体：2団体（令和2年度：2団体） 配分総額：70,000円（令和2年度：70,000円） <p>成果 当事者団体を支援することにより、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることができた。</p>														

○ 小規模障がい者施設支援事業の実施

歳末たすけあい運動の一環として、いわき市内の小規模障がい（児）者通所施設が行うクリスマス会等に対し、給食費等の一部を助成することにより、施設利用者が明るく元気に新年を迎えられるよう支援した。

- ・ 事業実績 53施設 1,299名（2年度：48施設 1,390名）

成果

歳末時期の障がい者福祉の一環として推進が図られた。

基本計画 1-5 生活困窮者対策の充実（所得、就労、住居など）

実施項目／実施内容						備考																																																																																																																						
○ 住民支え合い事業						再掲 P.4																																																																																																																						
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業						再掲 P.2 ～3																																																																																																																						
○ 福祉総合相談センター事業						関係 資料 P.74 ～76																																																																																																																						
<p>地域住民の日常生活におけるさまざまな問題やニーズに対し、助言・指導や専門機関への紹介等を行い、地域住民の生活不安等の問題解決や福祉の増進に努めた。</p> <p>1 相談状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開設相談</th> <th rowspan="2">開設延日数</th> <th colspan="3">利用者</th> <th rowspan="2">相談件数</th> <th colspan="2">処理状況</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>計（名）</th> <th>処理区分</th> <th>件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○心配ごと相談</td> <td>246</td> <td>139</td> <td>179</td> <td>318</td> <td>318</td> <td>解決</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>再来</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>民生委員</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>他機関</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>○ふれあい福祉相談</td> <td>246</td> <td>2,500</td> <td>1,793</td> <td>4,293</td> <td>4,293</td> <td>解決</td> <td>3,504</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>再来</td> <td>603</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>民生委員</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>他機関</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>○法律相談</td> <td>12</td> <td>27</td> <td>43</td> <td>70</td> <td>70</td> <td colspan="2" rowspan="4" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>○ボランティア相談</td> <td>246</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>○日常生活自立支援事業相談（あんしんサポート）</td> <td>246</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3,824</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8,554</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（令和2年度：8,952件）</p>						開設相談	開設延日数	利用者			相談件数	処理状況		男	女	計（名）	処理区分	件	○心配ごと相談	246	139	179	318	318	解決	47							再来	24							民生委員	2							他機関	213							その他	32	○ふれあい福祉相談	246	2,500	1,793	4,293	4,293	解決	3,504							再来	603							民生委員	7							他機関	165							その他	15	○法律相談	12	27	43	70	70	/		○ボランティア相談	246				49	○日常生活自立支援事業相談（あんしんサポート）	246				3,824	合計					8,554
開設相談	開設延日数	利用者			相談件数			処理状況																																																																																																																				
		男	女	計（名）		処理区分	件																																																																																																																					
○心配ごと相談	246	139	179	318	318	解決	47																																																																																																																					
						再来	24																																																																																																																					
						民生委員	2																																																																																																																					
						他機関	213																																																																																																																					
						その他	32																																																																																																																					
○ふれあい福祉相談	246	2,500	1,793	4,293	4,293	解決	3,504																																																																																																																					
						再来	603																																																																																																																					
						民生委員	7																																																																																																																					
						他機関	165																																																																																																																					
						その他	15																																																																																																																					
○法律相談	12	27	43	70	70	/																																																																																																																						
○ボランティア相談	246				49																																																																																																																							
○日常生活自立支援事業相談（あんしんサポート）	246				3,824																																																																																																																							
合計					8,554																																																																																																																							

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ふれあい相談の対応件数が急増した。複合的な困りごとを抱えているケースが増えており、地区保健福祉センターや生活・就労支援センターなどの関係機関と連携を図りながら対応にあたることで、相談者の困りごとに対し、多面的な支援を行った。

○ たすけあい子育てフードバンク事業

再掲
P.11

○ 児童養護施設歳末支援事業

再掲
P.13

○ 生活困窮者自立相談支援事業（生活・就労支援センター） ※市受託事業

再掲
P.6
～8

○ 生活資金貸付事業

低所得世帯であって、一時的に生活費・医療費・修学費、その他これらに準ずる経費に困窮する世帯に対し、経済的自立の助長あるいはその世帯の生活安定を図るための資金貸付を行った。

1 生活資金貸付状況

- ・ 貸付決定件数： 125 件（令和2年度：156 件）
- ・ 貸付決定総額： 2,291,034 円（令和2年度：2,617,351 円）

<内訳>

取扱地区	貸付決定 件数 (件)	貸付決定総額 (円)	取扱地区	貸付決定 件数 (件)	貸付決定総額 (円)
平	55	805,000	小 川	0	0
小名浜	15	260,500	好 間	0	0
勿 来	23	488,534	三 和	0	0
常 磐	13	386,000	田 人	0	0
内 郷	20	351,000	川 前	0	0
四 倉	0	0	久之浜・大久	0	0
遠 野	0	0	合 計	125	2,291,034

成果

生活保護受給までの生活費や生活福祉資金決定までのつなぎなど、緊急一時的な支援を行うことができた。

○ 生活福祉資金貸付事業 ※県社協受託事業

再掲
P.16
～19

<p>低所得世帯・高齢者世帯・身体障がい者世帯の経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的に低利で資金を貸し付けるとともに、民生児童委員による必要な援助・指導を行った。</p> <p>1 生活福祉資金貸付状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸付決定件数：71件（令和2年度：108件） 貸付決定総額：15,463,000円（令和2年度：19,073,000円） <p>成果</p> <p>生活・就労支援センターや地区保健福祉センター、民生児童委員等と連携を図りながら、生活困窮者が抱える複合的な問題に対し、多面的な支援を行うことができた。</p>	<p>関係資料 P.77</p>
<p>○ 法外援護事業の実施</p> <p>行路人に対し、いわき市から市外に転出するまでの旅費（交通費）を支給。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度支給実績 17件、9,800円（令和2年度：22件、16,970円） 	
<p>○ 生活困窮世帯見舞金配分事業の推進</p> <p>歳末たすけあい運動の一環として、在宅の生活困窮世帯（生活保護世帯を除く。）が、新たな年を迎えることができるよう支援することを目的に、歳末見舞金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 給付実績 527世帯 1,133名 7,088,000円 （2年度：576世帯 1,242名 7,758,000円） <p>* 給付額：1世帯10,000円を基本とし、家族が1人増えるごとに3,000円を加算。</p> <p>成果</p> <p>民生児童委員が友愛訪問を兼ねて見舞金を支給することで、生活困窮世帯が抱えるさまざまな相談も受けるとことができ、対象世帯の心のケアが図られた。</p>	<p>関係資料 P.73</p>
<p>○ クリスマス支援事業の推進</p> <p>福島県共同募金会の新型コロナウイルス感染症に伴う令和2年度配分金の残金の再配分に係る事業として、18歳以下の子どもがいる生活困窮世帯を対象に生活状況の把握と子どもの健全な育成の一助となることを目的に、クリスマスケーキとプレゼントの配布を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配布実績 43世帯 108人 （たすけあい子育てフードバンク及び生活就労支援センター利用世帯） <p>成果</p> <p>経済的な理由からクリスマスケーキを諦めていた世帯もあり、楽しいクリスマス提供することができ、子どもの健全な育成の一助につながった。</p>	

<p>○ 乳幼児のいる世帯の支援事業</p> <p>福島県共同募金会の新型コロナウイルス感染症に伴う令和2年度配分金の残金の再配分に係る事業として、乳幼児を養育している子育て困窮世帯に対し、必要な食糧や衛生用品等を支援することで、経済的自立と子どもの健全な育成の一助となることを目的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配布実績 9世帯（11名） （たすけあい子育てフードバンク及び生活就労支援センター利用世帯、子ども家庭課支援世帯） <p>成果</p> <p>乳幼児を抱える生活困窮世帯への経済的自立に向けた一助となった。</p>	
<p>○ DV被害者支援事業</p> <p>福島県共同募金会の新型コロナウイルス感染症に伴う令和2年度配分金の残金の再配分に係る事業として、NPO 法人いわきふれあいサポートと連携し、DV 被害者支援を行うことで、生活状況の把握に努め、関係機関との連携を図り、子どもの健全な育成と経済的自立や新たな支援の構築を目指すことを目的に支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配布実績 30世帯分の衛生用品 <p>成果</p> <p>NPO 法人いわきふれあいサポートと連携の強化が図られ、DV 被害者への経済的自立に向けた一助となった。</p>	
<p>基本計画1-6 社会的孤立対策の充実（自殺、ひきこもり、犯罪者の社会復帰）</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	<p>備考</p>
<p>○ 住民支え合い事業</p>	<p>再掲 P.4</p>
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.2 ～3</p>
<p>○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.5</p>
<p>○ 子育てサロン事業</p>	<p>再掲 P.20</p>
<p>○ 生活支援相談員等配置事業 ※県社協受託事業</p> <p>1 東日本大震災被災者への支援</p> <p>被災者の生活復興支援のため平成23年7月より生活支援相談員を配置し、災害公営住宅等における見守り、相談、福祉制度の情報提供、被災者を中心とした交流の場づくり等を行った。</p>	

<p>(1) 生活支援相談員配置状況：1名（令和4年3月末現在）</p> <p>(2) 対象世帯数：32世帯（令和4年4月1日現在）</p> <p>(3) 訪問状況：966件（事業開始から延べ件数 142,991件）</p> <p>(4) 交流会実施回数：29回（事業開始からの開催回数 1,525回）</p> <p>(5) 交流会参加人数：241名（事業開始からの参加人数 26,331名）</p> <p>2 令和元年東日本台風被災者への支援</p> <p>成果</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定期訪問や交流会活動に制限があるなかで、電話面談や短時間での訪問を行う等、対象者が孤立しないような支援を行うとともに、サロン活動にあたっては、参加者や自治会長と連携を図りながら、感染予防対策に努めて実施した。</p> <p>今後は、これまで生活支援相談員が中心となって担ってきた被災者支援活動を社協組織内部「地区協議会・他部門」と連携強化を図り NPO 等の関係団体と協働による地域住民がお互いさまで共に支え合う仕組み作りが出来るよう努めていきたい。</p>	再掲 P14
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.21
○ いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっずもりもり） ※市受託事業	再掲 P.22
基本計画 1－7 多文化との共生	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ いわき・ふれあい・ふくし塾事業 ※市受託事業	再掲 P.23
○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.24 ～25
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.25

基本目標 2 支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために
基本計画 2－1 福祉意識の醸成

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ いわき・ふれあい・ふくし塾事業 ※市受託事業	再掲 P.23
<p>○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・世代間交流等）</p> <p>1 ボランティア活動育成</p> <p>ボランティア活動を推進するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。</p> <p>○小名浜地区 小名浜地区ボランティア研修会…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○勿来地区 ボランティア講座…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○内郷地区 ボランティアスクール…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○四倉地区 ボランティア育成講座 開催日：令和3年10月18日 場 所：四倉商工会館 内 容：「ボランティア講座」 講 師：新町笑顔の会 代表 公平和俊氏 参加者：12名</p> <p>○小川地区 ボランティア講座…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○三和地区 ボランティア講座 開催日：令和3年11月17日 場 所：三和ふれあい館 内 容：「地域のボランティアでつながろう」 講 師：福祉レクリエーション・ネットワーク in ふくしま いわき 代表 七海多美子氏 参加者：13名</p>	

○田人地区

ボランティアの養成

開催日：令和3年10月21日

場 所：田人支所 会議室2

内 容：「認知症と共に生きる過ごし方講座」(VR 認知症疑似体験)

講 師：地域包括ケア推進課 橋本沙由里氏・佐久間花菜氏

参加者：20名

○久之浜・大久地区

ボランティア研修会…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

児童福祉スクール…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

成果

コロナ禍であったが、各種講座の開催により、認知症への理解や、今後のボランティア活動につながるきっかけとなった。

2 世代間交流事業

児童と高齢者との交流の場を提供し、子どもたちの福祉の心を育むとともに、高齢者の生きがいづくりを目的として開催した。

○勿来地区

ふれあい農業体験（台湾共同募金会からの助成事業）

開催日：令和3年5月～10月

場 所：ふれあい山田農園

内 容：さつまいも・大根の植え付け、草むしり、収穫祭

参加者：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般参加者の募集は行わず、山田ふれあい福祉の会と勿来地区ボランティア連絡会、なこそ授産所の協力を得て実施。

○常磐地区

世代間交流…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○内郷地区

防火 de ふれあう

開催日：令和3年11月9日

場 所：内郷消防署

内 容：防災用品の配布、交通安全、防火啓発活動・友愛訪問

参加者：47名

○四倉地区

地域交流事業…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○遠野地区

多世代交流事業…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○三和地区

ふれあい交流会……新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○田人地区

青少年地域交流事業

開催日：令和3年12月7日

場 所：田人ふれあい館

内 容：「ものづくり・EVエネルギー等の活用」講話
世代間交流、昼食会

参加者：73名

○川前地区

地域健康増進活動…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

福祉風土づくり…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○久之浜大久地区

ひとりぐらし高齢者招待事業…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

成果

コロナ禍であったが、地域ならではの取り組みをとおり、世代間の交流を図り、青少年の福祉意識の醸成と、高齢者の健康増進につなげることができた。

○ 青少年福祉体験学習事業

再掲
P.24
～25

○ サマーショートボランティアスクール事業

再掲
P.25

○ いわき市総合社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、式典のみの開催とし、社会福祉事業に貢献し、業績が顕著な方々に対しての表彰・感謝状の贈呈を行った。

<第47回いわき市総合社会福祉大会>

開催日	令和3年11月17日（水）	
開催場所	いわき芸術文化交流館 アリオス	
記念講演	中止	
参加者数	受賞者のみ	
表彰等	1 市長感謝状贈呈	70名
	2 大会会長表彰状贈呈	80名／ 6団体
	3 大会会長感謝状贈呈	35名／ 4団体
	計	185名／ 10団体

(令和2年度：91名／ 4団体)

(開催までの経過)

令和3年9月21日 第47回いわき市総合社会福祉大会運営委員会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面表決により開催）

成果

大会規模を縮小した中での開催となったが、式典を挙行できたことにより、表彰受賞者の顕彰を行うことができた。

○ 各種大会への参加

令和3年11月5日に相馬市で開催された第75回福島県社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、表彰受賞者及びその引率者のみの招待となったため、一般参加者（役職員）の招集はなく、受賞者から1名の参加となった。

○ 広報紙の発行

社会福祉協議会の取り組みへの理解と協力をいただくためにいわき市社協だよりを発行した。

各地区協議会においても広報紙を発行し、情報提供と理解の促進に努めた。

なお、編集にあたっては、役員と職員からなる広報委員会を設置し、より分かりやすく、親しみやすい構成に努めた。

1 いわき市社協だよりの発行

・発行部数：117,000部

・発行状況：令和3年 7月20日 いわき市社協だより第139号
9月17日 " 第140号
令和4年 1月20日 " 第141号
4月20日 " 第142号

2 地区協議会だよりの発行

地区	発行部数	地区	発行部数
平	35,700	小川	2,600
小名浜	24,500	好間	4,400
勿来	17,000	三和	1,300
常磐	12,000	田人	800
内郷	10,000	川前	500
四倉	5,100	久之浜・大久	1,750
遠野	1,800	合計	117,450

成果

広報紙を用いての事業紹介や報告等、広く市民に向けて情報を提供することにより、活動への参加や事業への協力を得ることができ、情報発信の重要な役割を担うことができた。

<p>○ ホームページ及びフェイスブック等による情報発信 本会の事業等の情報をホームページ及び Facebook に掲載し、情報提供に努めた。</p> <p>成果 タイムリーな情報更新に努め、本会事業の情報発信および事業周知ができた。</p>	
---	--

基本計画 2-2 地域福祉の担い手づくり

実施項目／実施内容	備考								
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4								
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3								
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5								
<p>○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・住民支え合い活動連絡会等）</p> <p>1 ボランティア活動育成</p> <p>2 住民支え合い活動連絡会等 ○遠野地区 住民支え合い活動情報交換会 開催日：令和3年11月28日（日） 参加人数：18名</p>	再掲 P.36 ～38								
<p>○ 福祉職場での実習生の受け入れ及び連絡調整 福祉の職場実習先として、本市出身の社会福祉専門職を目指す大学生を積極的に受け入れるとともに、他の福祉職場での実習に関する連絡調整を行い、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">受入期間</th> <th style="width: 40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">社会福祉援助技術現場実習 社会福祉現場実習</td> <td>令和3年9月27日 ～10月29日</td> <td>東日本国際大学（1名）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1校（1名）</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">*令和2年度：1校（1名）</p> <p>成果 実習生の受け入れを行うことにより、実際の現場を肌で感じてもらいながら専門職としての価値規範、専門的知識や経験等を学んでもらう他、これからの福祉を担っていく人材の育成に貢献することができた。</p>		受入期間	備考	社会福祉援助技術現場実習 社会福祉現場実習	令和3年9月27日 ～10月29日	東日本国際大学（1名）	合計	1校（1名）	
	受入期間	備考							
社会福祉援助技術現場実習 社会福祉現場実習	令和3年9月27日 ～10月29日	東日本国際大学（1名）							
	合計	1校（1名）							

<p>○ 各種福祉講座等へ職員を講師として派遣 保健福祉行政に新たに携わる職員向け講座の講師として職員を派遣し、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。</p> <p>令和 3年 5月26日 保健福祉行政新任者研修（市文化センター） 7月 7日 災害ボランティア運営研修（県社会福祉センター） 令和 4年 1月11日 いわき市基礎手話講習会（サン・アビリティーズ）</p>	
<p>○ 青少年福祉体験学習事業</p>	再掲 P.24 ～25
<p>○ サマーショートボランティアスクール事業</p>	再掲 P.25
<p>○ 広報紙の発行</p>	再掲 P.39
<p>基本計画 2-3 福祉ボランティア活動などの推進</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	備考
<p>○ 住民支え合い事業</p>	再掲 P.4
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	再掲 P.2 ～3
<p>○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・ボランティア連絡会等）</p> <p>1 ボランティア活動育成</p> <p>2 ボランティア連絡会等</p> <p>○小名浜地区 ボランティア連絡会…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>成果 各種ボランティア連絡会等を開催することにより、ボランティア活動の強化と活動に対する意識の醸成を図ることができた。</p>	再掲 P.36 ～37
<p>○ 青少年福祉体験学習事業</p>	再掲 P.24 ～25
<p>○ サマーショートボランティアスクール事業</p>	再掲 P.25
<p>○ 福祉活動支援バス借上げ助成事業の実施</p>	

市内で活動する福祉団体及びボランティア団体等が、バスを借上げて各種研修会や大会等に参加するのを支援するとともに、地域福祉の向上に寄与することを目的に、バス借上げ費用の一部を助成している。

(助成は、年1回。バス借上げ経費の50%、3万円上限。1泊以上の場合は、5万円上限。)

- ・助成団体数 1団体 (令和2年度：申請団体なし)
- ・助成金 30,000円 (令和2年度：助成なし)

○ いわき市ボランティア連絡協議会の活動の支援

ボランティア団体の充実強化やボランティア活動の振興を図る目的で組織された「いわき市ボランティア連絡協議会」が取り組む活動を支援した。

令和 3年 4月27日 ボランティア連絡協議会定期総会 (書面決議)

○ いわき市老人クラブ連合会の活動の支援

「いわき市老人クラブ連合会」の事務局を担い、高齢者作品展と芸能祭、さらには、各単位老人クラブが実施する一人暮らし高齢者への友愛訪問など、高齢者の社会参加や生きがいをづくり、健康増進を図ることを目的に実施するさまざまな活動を支援した。

令和 3年 7月 9日	シルバーピアード2021	第1回実行委員会
13日	高齢者の健康料理教室	開催 (県主催)
8月	シルバーピアード2021	第2回実行委員会 (書面審議)
	シルバーフェア2021	第1回実行委員会 (書面審議)
10日	シルバー歌謡祭	第1回実行委員会 (書面審議)
9月28日	シルバー歌謡祭	第2回実行委員会
10月21日	グラウンド・ゴルフ交流大会	第1回実行委員会
25日	シルバーピアード2021	中止
11月18日	第24回福島県高齢者芸能発表会	中止 (平地区)
29日	グラウンド・ゴルフ交流大会	第2回実行委員会
12月 7日	グラウンド・ゴルフ交流大会	開催
16日	シルバーフェア2021	創作展 (~20日)
令和 4年 1月21日	ふれあいニュースポーツ大会	開催 (勿来・田人地区限定)
1月26日	シルバー歌謡祭	中止

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染予防対策を講じながらの事業実施となったが、地域福祉活動の担い手となる高齢者の健康増進に寄与することができた。

<p>○ 広報紙の発行</p>	<p>再掲 P.39</p>																		
<p>○ ボランティア活動センター運営事業</p> <p>(1) ボランティア相談・登録の状況</p> <p>ニーズ受付件数 49件（令和2年度：40件） マッチング件数 5件（令和2年度：12件） 新規個人ボランティア登録数 7名（令和3年3月末登録者数：223名） 新規団体ボランティア登録数 4団体（令和3年3月末登録団体数：109団体）</p> <p>成果</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのボランティア活動が制約を受けたが、地域住民や施設等からのボランティアの依頼に応じ、地域活動に貢献することができた。</p>																			
<p>○ ボランティア保険の加入促進</p> <p>市民が安心して、継続的にボランティア活動ができるよう、ボランティア活動中のさまざまな事故による負傷などへの備えや、活動先からの賠償責任を求められたときに補償する、全国社会福祉協議会ボランティア活動保険などへの加入を促進した。</p> <p>1 ボランティア活動保険</p> <table border="1" data-bbox="245 1003 971 1352"> <thead> <tr> <th>プラン</th> <th>保険料 (掛金)</th> <th>加入者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本プラン</td> <td>350円</td> <td>983名</td> </tr> <tr> <td>天災・地震保障プラン</td> <td>500円</td> <td>414名</td> </tr> <tr> <td>大規模災害特例</td> <td>500円</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>特定感染症重点プラン</td> <td>550円</td> <td>1,050名</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>2,456名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2年度：2,317名)</p> <p>2 ボランティア行幸用保険</p> <ul style="list-style-type: none"> 加入申込み行事件数 11件／552名（2年度：10件／559名） <p>成果</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのボランティア活動が制限されたが、安全に活動できるよう保険加入の促進に努めた。</p> <p>また、住民支え合い活動に取り組む支え合いサポーターに対しては、本会の助成により、特定感染症重点プランの加入を行い、安全かつ安心して活動ができるよう体制構築を図った。</p>	プラン	保険料 (掛金)	加入者数	基本プラン	350円	983名	天災・地震保障プラン	500円	414名	大規模災害特例	500円	9名	特定感染症重点プラン	550円	1,050名			2,456名	
プラン	保険料 (掛金)	加入者数																	
基本プラン	350円	983名																	
天災・地震保障プラン	500円	414名																	
大規模災害特例	500円	9名																	
特定感染症重点プラン	550円	1,050名																	
		2,456名																	
<p>○ ボランティアルームの貸し出し</p> <p>ボランティア相互の情報交換や交流の場、さらには活動拠点として、ボランティア団体を対象にボランティアルーム等を無料で提供しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、使途目的に応じた貸出となった。</p>																			

ボランティアルームの貸出（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

提供場所	いわき市社会福祉センター 1階	利用件数	利用者数
利用時間	午前9時から午後9時	85件	374名
利用料	無料（要予約）		

（2年度：73件／368名）

- ・ 録音室の貸出 282件（2年度：298件）
※利用者数 650名（2年度：676名）
- ・ コピー機の提供 224件（2年度：278件）
- ・ ロッカーの貸出 13台（18台中）

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのボランティア活動が制約を受けたが、ボランティア相互の情報交換や交流の場として活用を図ることができた。

○ 災害ボランティアセンターの常設運営

平成29年4月から、災害ボランティアセンターを常設体制に切り替え、本市内外の大規模災害の対応や復興支援に関するボランティア活動の支援・調整等に取り組んできた。

1 活動内容

災害公営住宅入居者等を対象者した交流会（サロン）やイベントへのボランティアコーディネートによる地域コミュニティづくり

＜ボランティアの活動状況＞

- ・ ボランティア活動者数 33名（令和2年度：56名）
- ・ サロン・イベント件数 29件（令和2年度：33件）

成果

災害公営住宅等において定期的にサロン・交流イベントを開催することにより、コミュニティづくりにつなげることができた。

○ 災害見舞金配分事業

火災、水害等の罹災者に対し、福島県共同募金会より配分を受けて、見舞金の支給を行った。

地区名	災害内容件数（件）				配分額（円）
	火災	床上浸水	その他	合計（件）	
平	3	0	0	3	35,000
小名浜	5	0	0	5	60,000
勿来	2	0	0	2	25,000

- (3) 公益財団法人 キリン福祉財団「キリン・福祉のちから開拓事業」
- (4) 公益財団法人 福島県総合社会福祉基金「助成事業・貸付事業」
- (5) 公益財団法人 ユニバーサル財団「2021年度特定活動助成」
- (6) 公益財団法人 ヤマト福祉財団「ヤマト福祉財団助成金」
- (7) 公益財団法人 福島民友愛の事業団「福祉活動顕彰事業」
- (8) 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団「わかば基金」

成果

登録ボランティア団体等への情報提供により、活動支援の強化が図られた。

○ 赤い羽根共同募金運動の推進

社会福祉施設や社会福祉団体等が行う民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金を推進するとともに、通年型募金箱の設置箇所の開拓や街頭募金・職域募金等の拡充強化を図り、募金実績の増強に努めた。

<推進期間> 令和3年10月1日～令和4年3月31日まで

<募金額> 47,911,579円（2年度実績額：48,671,733円）

（内 訳）

	募金額（円）
1 戸別募金	39,334,663
2 街頭募金	0
3 法人募金	4,646,856
4 学校募金	2,473,093
5 職域募金	1,143,868
6 イベント募金	0
7 個人募金	25,358
8 その他の募金	287,741
計	47,911,579

*街頭募金・イベント募金については、新型コロナ感染拡大防止により中止

成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、街頭募金・イベントの中止となり、募金実績額が前年度より減少となったが、社会福祉施設や社会福祉団体等が行う民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金としての役割を果たすことができた。

○ 歳末たすけあい運動の推進

支援を必要としている人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉・在宅福祉サービス事業を重点的に展開していくため、新たな年を迎える時期に、地域住民やボランティア、民生児童委員、社会福祉施設、さらには関係機関や団体等の協力のもと「歳末たすけあい募金活動」を実施した。

<募金納入額>

24,841,648円(2年度:25,179,824円)

<配分状況>

	配分数	配分額(円)
1 在宅見舞金配分	527世帯	7,088,000
2 地域福祉事業配分		6,124,726
計		13,212,726

(令和2年度:14,127,482円)

成果

市民への歳末たすけあい募金運動の周知と理解が得られた。

基本計画2-4 見守り支援体制の整備

実施項目/実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ~3
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 各種事業の開催(高齢者友愛訪問・夕食宅配サービス等) 福祉推進委員・民生児童委員の協力を得て、地区内のひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、安否確認や心配事等に対応していくとともに、地域の支えあいを目的として実施した。 ○遠野地区 在宅支援友愛訪問 開催日:令和3年12月17日 場所:遠野管内 対象世帯:135世帯 内容:シクラメンの鉢植えをプレゼント 協力者:30名	

○小川地区

ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

開催日：令和4年2月22日

場所：小川管内

対象世帯：175名

内容：心配ごと相談、話し相手、交通安全・防犯・悪質商法対策の情報提供

協力者：20名

○田人地区

夕食宅配サービス

開催日：令和2年8月20日、11月7日

場所：田人管内

対象人数：340人（延べ）

内容：夏はスポーツドリンク
冬は既成のお弁当の配食を実施

協力者：15名

○川前地区

ふれ愛ゆうびん

開催日：通年

場所：川前管内

対象世帯：27世帯

内容：桶売中学校の協力により
高齢者宅へ学校行事の案内、暑中見舞い、年賀状を送付

○久之浜・大久地区

夕食宅配サービス事業

開催日：令和3年12月11日

場所：久之浜・大久地区内

対象者：154名

内容：温かいお弁当を手渡ししながら、安否確認と相談活動

参加者：17名

成果

他者との交流の機会をとおり、一人暮らし高齢者の孤独感の解消を図り、日頃からの見守り体制の構築につなげることができた。

○ ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業の実施

いわき市老人クラブ連合会が、単位老人クラブごとに組織的に実施する「ひとり暮らし高齢者等への友愛訪問活動事業」に対し、歳末たすけあい運動の一環として助成金（400,000円）を交付し、その活動を支援した。

- ・ 訪問実績 256名（寝たきり高齢者 34名、ひとり暮らし高齢者 222名）
（2年度： 290名（寝たきり高齢者 34名、ひとり暮らし高齢者 256名）

成果

地域内のひとり暮らし高齢者等を訪問活動することで、会員の拡充と高齢者が安心して暮らすための地域づくりにつなげることができた。

○ 福祉情報誌配布と見守り訪問事業の実施

歳末たすけあい運動の一環として、緊急連絡カード（兼）救急医療情報キットを配備しているひとり暮らし高齢者等に対し、民生児童委員の協力を得て、日常生活に役立つ保健・福祉情報を盛り込んだ「健康カレンダー」を配布するとともに、見守りや相談援助活動を行い、高齢者が地域で安心して生活できるよう支援した。

- ・ 健康カレンダーを市内16,000世帯に配布

成果

高齢者が安心して暮らすための各種情報として、社協事業の紹介と併せ、いわき市・地域包括支援センター・警察署等の取り組みを紹介し、身近な相談窓口の広報周知につながった。

○ 子育てサロン事業

再掲
P.20

○ たすけあい子育てフードバンク事業

再掲
P.11

○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業

再掲
P.21

○ いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっずもりもり） ※市受託事業

再掲
P.22

○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業

緊急連絡カード（兼）救急医療情報キットの配付を通して、ひとり暮らし高齢者世帯・避難行動要支援者名簿登録者等の見守りや、日常生活全般にわたる自立支援、事故防止等のサポート体制づくりに努めた。

<配備状況>

(単位：名)

地区名	配備者数	地区名	配備者数	地区名	配備者数
平	1,881	四倉	350	田人	94
小名浜	1,070	遠野	147	川前	96
勿来	708	小川	195	久之浜・大久	249
常磐	551	好間	393	計	6,740
内郷	763	三和	243		

(令和2年度 7,003名)

成果

ひとり暮らし高齢者等や避難行動要支援者名簿登録者の情報を把握することができ、地域内で孤立しがちな住民の発見と見守り体制の構築につなげることができた。

○ 避難行動要支援者マップ作成事業 ※市受託事業

市の総合防災訓練の実施地区をマップ作成地区として指定し、懇談会を開催して「避難行動要支援者マップ」を作成し、地域住民が支えあい、支援していく仕組みの構築・強化に努めた。
なお、市の総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった。

地区別指定地域一覧

地区名	指定地域	開催日	場 所
平	平25区	令和3年11月7日	八幡小路会館
小名浜	下川1・2区	令和3年10月26日	小名浜地区協議会事務所
		11月11日	泉公民館
		11月13日	企業交流会館
		11月25日	小名浜地区協議会事務所
		12月11日	下川公民館
勿来	東田地区	令和3年11月2日	東田集会所
常磐	高倉B区	令和4年3月14日	常磐支所
内郷	宮12区	令和3年10月28日	鬼ヶ沢集会所
四倉	袖玉山地区	令和3年9月10日	袖玉山構造改善センター
小川	三島地区	令和4年3月25日	三島集会所
三和	合戸地区	令和4年2月3日	合戸集会所
田人	貝泊地区	令和4年3月12日	貝泊集会施設
久之浜・大久	東町地区	令和3年11月26日	久之浜東団地集会所

成果

令和3年度末で市内105地区でのマップ作成となった。令和元年東日本台風による浸水被害の状況を振り返り、改めて行政区等を単位として、住民同士の情報共有や日頃から見守り合う体制を築くことの必要性を認識することができた。

○ 生活支援相談員等配置事業 ※県社協受託事業

再掲
P.34
～35

○ 行政嘱託員（区長）連合協議会・民生児童委員協議会との合同連絡会

各地区の民生児童委員協議会長と行政嘱託員連合協議会長及び地区協議会会長との連携強化を図るため、令和3年度の事業計画及び事業等の説明及び会員会費の加入促進に理解と協力を得るとともに意見交換を行う予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

<p>○ 民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連携</p> <p>1 民生児童委員との連携強化</p> <p>情報交換や協働を通じて、地域福祉や在宅福祉を円滑に進めるよう努めた。</p> <p>(1) 民生児童委員と連携する主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活福祉資金貸付事業 ② 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業 ③ 住民支え合い活動づくり事業 ④ 住民支え合い事業 ⑤ つどいの場創出支援事業 ⑥ 共同募金関係事業 ⑦ 歳末配分事業 ⑧ 歳末配分援護世帯の調査及び見舞金の支給 <p>(2) 地区協議会において単位民協定例会へ出席し、情報交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 社協関係事業情報提供 ② 各種調査による情報収集 <p>2 行政嘱託員（区長）との連携強化</p> <p>さまざまな地域活動の中核として活動されている行政嘱託員・区長との連携を強化し、募金活動や地域福祉活動への協力をいただきながら、地域福祉の向上に努めた。</p> <p>(1) 行政嘱託員・区長と連携する主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 住民支え合い活動づくり事業 ② 住民支え合い事業 ③ 会員会費の推進 ④ 共同募金運動の推進 ⑤ 社協広報紙の配布 ⑥ つどいの場創出支援事業 	
<p>基本計画 2－5 虐待防止体制の充実</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	<p>備考</p>
<p>○ 住民支え合い事業</p>	<p>再掲 P.4</p>
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.2 ～3</p>
<p>○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.5</p>

<p>○ 各種事業の実施（介護者友愛訪問・在宅介護者支援等）</p> <p>日頃、寝たきり高齢者等の介護に専念されている介護者を対象に、花鉢を届けながら交流し、在宅介護者の精神安定につなげることを目的に実施した。</p> <p>○三和地区</p> <p>介護者・ほっと一息支援事業</p> <p>開催日：令和3年4月27日</p> <p>場所：三和管内</p> <p>対象世帯：22世帯</p> <p>内容：友愛訪問による花鉢のプレゼント</p> <p>協力者：9名</p> <p>○田人地区</p> <p>在宅介護者との交流事業</p> <p>開催日：令和3年12月16日</p> <p>場所：田人管内</p> <p>対象世帯：20世帯</p> <p>内容：友愛訪問による花鉢のプレゼント</p> <p>協力者：8名</p> <p>○久之浜・大久地区</p> <p>在宅介護者支援事業</p> <p>開催日：令和4年3月10日</p> <p>場所：久之浜・大久管内</p> <p>対象世帯：19世帯</p> <p>内容：友愛訪問による慰労品のプレゼント</p> <p>協力者：17名</p> <p>成果</p> <p>花鉢を届けることにより交流の機会が得られ、在宅介護者に寄り添い、心身の慰労につなげることができた。</p>	
<p>○ 子育てサロン事業</p>	再掲 P.20
<p>○ たすけあい子育てフードバンク事業</p>	再掲 P.11
<p>○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業</p>	再掲 P.21
<p>○ いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっずもりもり） ※市受託事業</p>	再掲 P.22
<p>○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業</p>	再掲 P.10

○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.9
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.49 ～50
○ 介護保険事業	再掲 P.26 ～28
○ 産前・産後ヘルパー派遣事業 ※市受託事業	再掲 P.22 ～23
基本計画 2-6 相談・支援機関のネットワーク強化	
実施項目／実施内容	備考
○ 福祉総合相談センター事業	再掲 P.31 ～32
○ 子育てサロン事業	再掲 P.20
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.21
○ いわき市屋内遊び場管理運営事業（いわきっずもりもり） ※市受託事業	再掲 P.22
○ 生活・就労支援センター運営事業（生活困窮者自立支援事業） ※市受託事業	再掲 P.6 ～8
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.10
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.9
○ 生活支援相談員等配置事業 ※県社協受託事業	再掲 P.34 ～35
○ 車椅子同乗移送用自動車貸出事業・車椅子同乗貸出事業	再掲 P.29 ～30
○ 介護保険事業	再掲 P.26 ～28

基本計画 2-7 避難行動要支援者支援制度の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ 避難行動要支援者マップ作成事業 ※市受託事業	再掲 P.50
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.49 ～50
○ 避難者行動要支援者登録の推進 「避難者行動要支援者マップ」の作成のための懇談会を通し、地域における要支援者の把握に努めるとともに、必要とされる方への避難行動要支援者登録について勧奨した。	
○ いわき市総合防災訓練への参画 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	
○ 福祉避難所の支援 いわき市と福祉避難所への人材派遣に関する協定に基づき、大規模災害発生時において、福祉避難所が設置され要請があった場合は、介護等に従事する職員を派遣することとなっていることから、派遣に備えた介護等従事職員の体制を図った。	
基本計画 2-8 防犯対策の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.49 ～50
基本計画 2-9 交通移動手段や住まいの確保	
実施項目／実施内容	備考

○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
基本計画 2-10 権利擁護・成年後見の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 福祉総合相談センター事業	再掲 P.31 ～32
○ 生活・就労支援センター運営事業（生活困窮者自立支援事業） ※市受託事業	再掲 P.6 ～8
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.10
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.9
○ たすけあい子育てフードバンク事業	再掲 P.11

基本目標 3 健康で自分らしい暮らしをつくるために	
基本計画 3-1 健康づくりの推進	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 子育てサロン事業	再掲 P.20
○ 各種事業の実施（地域健康増進活動・地域配食サービスボランティア等）	

○ 百歳賀寿の実施

百歳の高齢者に対し記念品を贈呈し、その長寿を祝い、あわせて市民の間に広く高齢者福祉についての関心と理解を深めるとともに、高齢者の健康の増進に努める意欲を高めた。

居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)
平	23	四倉	6	田人	0
小名浜	17	遠野	0	川前	2
勿来	12	小川	5	久之浜・大久	2
常磐	12	好間	6	計	95
内郷	8	三和	2	(令和2年度：92名)	

基本計画3-2 保健医療体制の充実

実施項目／実施内容	備考
○ 介護保険事業	再掲 P.26 ~28
○ 障がい者福祉サービス事業	再掲 P.30
○ 身体障がい者訪問入浴サービス事業	再掲 P.30
○ 保健・医療・福祉関係の各種会議等への参画	
<p><いわき市社会福祉審議会> 令和 3年 6月 2日 第1回児童福祉専門分科会 (書面開催) 令和 4年 3月 25日 第2回児童福祉専門分科会 (書面開催)</p> <p><いわき市情報公開・個人情報保護審議会> 令和 3年 5月 28日 第1回審議会 (いわき市役所議会棟)</p> <p><いわき市国民健康保険運営協議会> 令和 3年 5月 19日 第1回運営協議会 (いわき市役所)</p> <p><いわき市表彰選考委員会> 令和 3年 7月 29日 令和3年度表彰選考委員会 (いわき市役所)</p> <p><健康いわき推進会議> 令和 3年12月15日 第1回会議 (アリオス)</p> <p><いわき市児童館運営委員会> 令和 3年 7月 19日 委嘱状交付式及び第1回運営委員会 (市総合保健福祉センター)</p>	

<いわき市地域自立支援協議会>

令和 3年10月29日 第1回協議会（書面開催）
12月21日 第2回協議会（いわき市役所）
令和 4年 3月 9日 第3回協議会（書面開催）

<奨学生選考委員会>

令和 3年 4月23日 令和3年度選考委員会（いわき市役所）

<いわき市社会福祉施設事業団>

令和 3年 5月31日 第121回理事会（市健康・福祉プラザ）
令和 4年 3月23日 第122回理事会（市健康・福祉プラザ）

<日本赤十字社福島県支部>

令和 3年 6月15日 第1回評議員会（書面開催）
令和 4年 1月29日 第2回評議員会（書面開催）

<いわき都市圏総合都市交通推進協議会>

令和 3年11月 9日 第3回協議会（市文化センター）
令和 4年 3月10日 第4回協議会（書面開催）

<いわき市まちづくり市民会議>

令和 3年11月24日 委嘱状交付式及び第1回会議（書面開催）

<いわき市立地適正化計画評価等専門委員会>

令和 3年12月21日 第3回会議（市労働福祉会館）

<いわき市防災会議>

令和 4年 3月15日 令和3年度会議（書面会議）

<いわき市地域包括ケア推進会議>

令和 3年 9月 3日 第1回会議（書面開催）
令和 4年 2月14日 第2回会議（書面開催）

<介護保険運営協議会>

令和 3年 5月27日 第1回会議（書面開催）
12月23日 第2回会議（オンライン開催）
令和 4年 2月15日 第3回会議（書面開催）

<いわき市保健医療審議会>

令和 3年 8月 6日 第1回審議会（書面開催）

<p><いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動></p> <p>令和 3年 4月 8日 役員会（文化センター） 4月20日 全体会議（書面開催）</p> <p><いわき市地域自立支援協議会></p> <p>令和 3年 6月23日 第1回協議会（書面開催） 12月21日 第2回協議会（いわき市役所）</p> <p><県社協関係></p> <p>令和 3年 6月 4日 福島県社会福祉協議会理事会（県社会福祉センター） 6月21日 福島県社会福祉協議会理事会（県社会福祉センター） 7月 1日 市町村社協連協会会長・事務局長会議（オンライン開催） 8月 2日 市町村社協連協事務局長会地区連絡会議（オンライン開催） 8月19日 市町村社協連協事務局長会長・副会長会議（オンライン開催） 11月11日 福島県社会福祉協議会理事会（県社会福祉センター）</p> <p>令和 4年 1月20日 市町村社協連協事務局長会地区連絡会議（オンライン開催） 2月15日 市町村社協連協事務局長会長・副会長会議（オンライン開催） 2月24日 福島県社会福祉協議会副会長会議（県社会福祉センター） 3月 4日 福島県社会福祉協議会理事会（県社会福祉センター）</p> <p><県防災会議></p> <p>令和 4年 2月28日 令和3年度会議（書面開催）</p>	
---	--

基本計画3-3 産業、教育など保健福祉以外の様々な分野との協働

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 各種事業の実施（青少年地域交流・福祉風土づくり等）	
○ いわき市総合社会福祉大会の開催	再掲 P.38 ～39
○ 各種大会への参加	再掲 P.39

○ ボランティア活動センター運営事業	再掲 P.43
--------------------	------------

組織および組織運営

1 組織体制

実施項目／実施内容	備考
<p>○ 理事会・評議員会</p> <p>令和3年 4月 1日 第1回理事会 〔議事〕 1 常務理事の選定について</p> <p>6月11日 第2回理事会 〔報告〕 1 職務執行状況報告について 2 第4次地域福祉活動計画の策定について 〔議事〕 1 事務局組織規程の改正について 2 令和2年度事業報告について 3 令和2年度決算の承認について (監 査 報 告) 4 理事・監事候補者の選任について 5 評議員選任候補者の推薦について 6 評議員選任・解任委員会委員の選任について 7 定時評議員会の招集について 8 評議員選任・解任委員会の開催について</p> <p>6月29日 第1回評議員会 〔報告〕 1 第4次地域福祉活動計画の策定について 2 事務局組織規程の改正について 〔議事〕 1 令和2年度事業報告について 2 令和2年度決算の承認について (監 査 報 告) 3 理事の選任について 4 監事の選任について</p> <p>6月29日 第3回理事会 1 会長、副会長及び常務理事の選定について</p>	

10月20日 第4回理事会

[報告]

- 1 職務執行状況報告について
- 2 令和4年度職員採用候補者試験の結果について

[議事]

- 1 育児・介護休業等に関する規則の改正について
- 2 職員給与規程の改正について
- 3 いわき市社会福祉センター照明改修工事請負契約について
- 4 令和3年度資金収支補正予算について
- 5 評議員会の招集について

10月28日 第2回評議員会

[報告]

- 1 令和4年度職員採用候補者試験の結果について
- 2 育児・介護休業等に関する規則の改正について
- 3 職員給与規程の改正について

[議事]

- 1 いわき市社会福祉センター照明改修工事請負契約について
- 2 令和3年度資金収支補正予算について

12月15日 第5回理事会

[報告]

- 1 職務執行状況報告について

[議事]

- 1 ホームヘルパー等給与規程の改正について
- 2 令和3年度資金収支補正予算について
- 3 評議員会の招集について

12月23日 第3回評議員会

[報告]

- 1 ホームヘルパー等給与規程の改正について

[議事]

- 1 令和3年度資金収支補正予算について

令和4年 3月16日 第6回理事会

[報告]

- 1 職務執行状況報告について
- 2 令和4年度職員採用候補者試験の結果について
- 3 理事補充の選任について

[議事]

- 1 定款の変更について
- 2 役員等の報酬等に関する規程の改正について
- 3 事務局組織規程の改正について
- 4 職員服務規程の改正について
- 5 職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について
- 6 職員給与規程の改正について
- 7 ホームヘルパー給与等規程の改正について
- 8 介護職員処遇改善手当の支給に関する規程の制定について
- 9 経理規程の改正について
- 10 事務決裁規程の改正について
- 11 指定居宅介護支援事業所運営規程の改正について
- 12 指定訪問入浴介護事業所運営規程の改正について
- 13 指定訪問介護事業所運営規程の改正について
- 14 指定介護予防訪問入浴介護事業所運営規程の改正について
- 15 指定第1号訪問介護事業所（介護予防訪問介護相当サービス）運営規程の改正について
- 16 指定訪問介護事業所生活援助サービス事業運営規程の改正について
- 17 指定居宅介護事業所運営規程の改正について
- 18 非常勤ヘルパー服務規程の改正について
- 19 令和3年度資金収支補正予算について
- 20 役員等賠償責任保険契約について
- 21 令和4年度事業計画について
- 22 令和4年度資金収支当初予算について
- 23 評議員会の招集について

3月24日 第4回評議員会開催

〔報告〕

- 1 令和4年度職員採用候補者試験の結果について
- 2 事務局組織規程の改正について
- 3 職員服務規程の改正について
- 4 職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について
- 5 職員給与規程の改正について
- 6 役員等賠償責任保険契約について

〔議事〕

- 1 定款の変更について
- 2 役員等の報酬等に関する規程の改正について
- 3 令和3年度資金収支補正予算について
- 4 令和4年度事業計画について
- 5 令和4年度資金収支当初予算について

<p style="text-align: center;">6 理事補充の選任について</p>	
<p>○ 監査の実施</p> <p>令和 3年 6月 3日 市社協監査 監事による監査を受け、適正処理であることの承認を得る</p>	
<p>○ 各種専門委員会の実施</p> <p>【評議員選任・解任委員会】 令和 3年 6月 29日 評議員の選任について</p> <p>【広報委員会】 令和 3年 6月 23日 令和3年度いわき市社協だより発行計画及び作業計画について いわき市社協だより第139号掲載内容・承認について ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議 8月25日 いわき市社協だより第140号掲載内容・承認について 12月15日 いわき市社協だより第141号掲載内容・承認について 令和 4年 3月 16日 いわき市社協だより第142号掲載内容・承認について</p> <p>【衛生委員会】 令和 3年4月～令和4年3月まで（毎月開催）</p>	
<p>○ 地区幹事会・福祉推進会の実施</p> <p>地区住民の福祉向上に寄与するため、地区の保健・医療・福祉・教育及び関連団体の代表者等で構成される幹事会及び福祉推進会を各地区において開催し、地域に密着した福祉活動の円滑な推進を図った。</p>	
<p>○ 福祉推進委員等役員研修の実施</p> <p>地域福祉活動に対する一層の理解と協力を得るために、地区協議会の福祉推進委員等を対象に各種の研修を行っているが、令和3年度は、小名浜地区協議会を除く12地区協議会において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。</p> <p>○小名浜地区協議会 開催日 令和4年1月19日 内 容 「インターネットにおける消費トラブル」 講師：いわき市消費生活センター 参加者 24名</p>	

2 財源および財務運営

実施項目／実施内容

備考

○ 会員会費の推進

1 正会員及び特別会員会費の推進

全戸加入を目標として行政嘱託員の協力をいただきながらチラシの全戸配布や会費の納入のとりまとめを行うなど会員の確保に努めた。

- ・ 正会員世帯数 79,524世帯
- ・ 納入額 39,573,890円

<推進期間>

	推進地区
7月	平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久

<会費納入額>

	納入額 (円)
1 正会員会費	39,573,890円
2 特別会員会費	1,486,000円
計	41,059,890円

<令和元年度～令和3年度 会費納入額の推移>

	R1	R2	R3	前年度増減	対前年度比
1 正会員会費	40,148,410円	39,785,690円	39,573,890円	△211,800円	99.4%
2 特別会員会費	1,496,000円	1,436,000円	1,486,000円	50,000円	103.5%
合計	41,644,410円	41,221,690円	41,059,890円	△161,800円	99.6%

2 企業会員及び団体（法人施設）会員会費の推進

新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、安全かつ効率的に実施するため、昨年度同様、原則、『振込み』による納入とした。

- ・ 企業会員数 731企業
- ・ 納入額 8,610,000円

<令和元年度～令和3年度 企業会員会費納入額の推移>

	R1	R2	R3	前年度増減	対前年比
企業会員会費	10,395,000円	9,040,000円	8,610,000円	△430,000円	95.2%

関係資料 P.79～80

(2) 団体（法人施設）会員会費推進状況

加入数	納入額
66団体	660,000円

<令和元年度～令和3年度 法人会員会費納入額の推移>

	R1	R2	R3	前年度増減	対前年比
法人会員会費	650,000円	680,000円	660,000円	△20,000円	97.0%

成果

前年度と比較すると、正会員会費が0.6%、企業会員会費が4.8%、団体（法人施設）会員会費が3%減額し、特別会員会費が3.5%増額している。令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、安全かつ効率的に実施するため、昨年度同様、原則、『振込み』による納入を継続したことで令和2年度に引き続き減額となった。

本会の事業を展開していくうえで会員会費は必要不可欠な財源であることから、社協の事業に対する理解を得ながら、今後も継続した会費の納入と新規の加入促進に努めていく必要があり、昨年度の実績を検証した上で、コロナ禍における推進方法を検討する。

○ 共同募金運動の推進

再掲
P.46

○ ボランティア基金の運営

再掲
P.45

<p>○ 補助・受託事業の実施</p> <p><令和3年度の事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活困窮者自立相談支援事業（市） ・ つどいの場創出支援事業（市） ・ 地域子育て支援拠点事業（市） ・ 住民支え合い活動づくり事業（市） ・ 避難行動要支援者マップ作成事業（市） ・ いわき市屋内遊び場管理運営事業（市） ・ 産前産後ヘルパー派遣事業（市） ・ いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業（市） ・ 一時提供住宅入居者等見守り支援事業（市） ▪ 身体障がい者訪問入浴事業（市・檜葉町） ・ 要介護認定調査（市・関係市区町村） ・ 介護予防支援業務（市・関係市町村） ・ 生活福祉資金貸付事業（県社協） ・ 日常生活自立支援事業（県社協） ・ 福祉人材センター指定協力事業（県社協） ・ 生活支援相談員等配置事業（県社協） ・ 指定介護予防支援事業（NPO） 	
--	--

<p>○ いわき市社会福祉センターの設置運営</p> <p>会議室、3階・4階の貸室等により、事業収入財源の確保に努めた。</p>	<p>関係資料 P.72</p>
--	----------------------

3 職員体制および職員研修

実施項目／実施内容	備考
-----------	----

<p>○ 計画的な職員の採用</p> <p>健全な財政に基づく組織運営と事務事業を遂行するため、適正な職員定数のもとに、計画的な職員の採用に努めた</p> <p>令和3年度は、正規職員の欠員補充に伴い、「令和4年度職員採用候補者試験」を実施した。</p> <p>1 採用人数 3名（社会福祉士資格取得者） ※応募者数13名</p>	
---	--

<p>○ 職員の資格取得の奨励</p> <p>地域福祉を推進し、かつ住民福祉活動を支援していくうえで、職員にはより高い専門性が求められる時代になったことから、社会福祉士や社会福祉主事、介護福祉士、介護支援専門員など、職員の資格取得と専門性の向上に努めた。</p>	
--	--

○ 職場内研修の実施

事務事業の実践能力の向上、専門性の向上、組織人としての成長が、市民サービスと組織の活性化に直結することから、職務を通じた研修やテーマごとの研修会を開催するなど、計画性と継続性をもって職員の資質向上に努めた。

<地域福祉事業関係>

令和3年	4月26日	住民支え合い活動づくり事業・住民支え合い事業第1回担当者会議
	6月30日	住民支え合い活動づくり事業・住民支え合い事業第2回担当者会議
	10月29日	第1回事例検討会
	11月12日	第2回事例検討会
	12月10日	住民支え合い活動づくり事業・住民支え合い事業第3回担当者会議
令和4年	1月31日	住民支え合い活動づくり事業・住民支え合い事業第4回担当者会議

<ホームヘルプセンター関係>

(毎週開催)	居宅支援事業所定例会
(毎月開催)	訪問介護事業所定例会 / 訪問入浴事業所定例会

○ 職場外研修の実施

全国・福島県社会福祉協議会、さらにはさまざまな団体等が実施する研修会や講習会等へ職員を積極的に派遣した。

<地域福祉活動事業関係>

令和3年	6月22日	令和3年度市町村社会福祉協議会職員研修(新任職員編)
	7月19日	生活支援体制整備事業担当者オンライン情報交換会
	7月5日	令和3年度生活支援コーディネーター養成研修【基礎編】 (動画研修)
	9月6日	令和3年度全国福祉教育推進員研修(パルセいいざか)
	9月10日	令和3年度生活支援コーディネーター養成研修【実践編】
	9月22日	(オンライン研修)
令和4年	1月5日	令和3年度ケースワーカー研修
	～25日	(自己学習)
	1月30日	令和3年度いわき市子育て・保育支援研修会(動画研修)
	2月9日	令和3年度生活支援コーディネーター研究協議会 (オンライン研修)

<ボランティアセンター事業関係>

令和3年	7月19日	令和3年度社会福祉施設ボランティア担当者研修【基礎編】 (動画研修)
	7月5日	令和3年度災害ボランティアセンター運営研修【基礎編】 (県社会福祉センター)

7月 6日 令和3年度災害ボランティアセンター運営研修【実践編】
 ～ 7日 (県社会福祉センター)
 12月 6日 令和3年度ボランティア・福祉教育担当者研修 (オンライン)

<日常生活自立支援事業関係>

令和 3年 4月 26日 あんしんサポート生活支援員研修会 (動画研修)
 ～ 28日
 5月 11日 あんしんサポート契約締結審査会 (オンライン)
 7月 13日 あんしんサポート契約締結審査会 (オンライン)
 8月 30日 あんしんサポート業務説明会 (オンライン)
 8月 30日 あんしんサポート生活支援員新規委嘱者研修
 (小名浜地区保健福祉センター)
 9月 15日 権利擁護相談会 (オンライン)
 11月 1日 あんしんサポート市町村社協連絡会議 (県社会福祉センター)
 11月 9日 あんしんサポート担当職員事例検討会 (オンライン)
 11月 9日 あんしんサポート契約締結審査会 (オンライン)
 令和 4年 2月 17日 あんしんサポート生活支援員新規委嘱者研修
 (いわき市総合保健福祉センター)
 3月 8日 あんしんサポート専門員・担当職員学習会 (オンライン)

<被災者支援事業関係>

令和 3年 7月 8日 生活支援相談員基礎研修 (南東北総合卸センター)
 7月 15日 相双・いわき地区被災者見守り相談支援調整会議 (富岡町)
 10月 14日 生活支援相談員基礎研修 (南東北総合卸センター)

<ホームヘルプセンター関係>

令和 3年 5月 19日 第1回平地区介護支援専門員交流会 (オンライン)
 9月 15日 第3回平地区介護支援専門員事例検討会 (オンライン)
 10月 22日 主任介護支援専門員研修 (福島県自治会館)
 11月 30日 //
 12月 1日 //
 令和 4年 3月 18日 いわき医療圏退院調整ルールの運用状況 (オンライン)

